

2025
77

令和7年2月28日

柔道整復師

広 報
とやま



宇奈月温泉雪上花火大会（黒部市）

目次

巻頭言…………… 会長 木下 隆男 …… 1

春のご挨拶…………… 2

◆公益社団法人富山県柔道整復師会

理事会報告

令和6年度（公社）富山県柔道整復師会第2回理事会 …… 14

令和6年度（公社）富山県柔道整復師会第3回理事会 …… 16

光熱費等高騰対策緊急支援事業実施に関する要望書提出 …… 19

事業報告

○学術部

令和6年度富山県接骨学術研修会…………… 20

令和6年度第1回日整「匠の技」技術講習会…………… 21

第11回匠の技伝承プロジェクト指導者講習会 …… 22

接骨医学論文作成研究会報告

論文作成研究会のシステムと名称変更について… 23

砺波ブロック接骨医学論文作成研究会…………… 23

第33回日本柔道整復接骨医学会学術大会…………… 26

○保険部

令和6年度保険部活動記録…………… 27

令和6年度（公社）富山県柔道整復師会保険実務講習会 …… 27

富山ブロック保険部講習会報告…………… 28

富山地区柔道整復師会マイナ資格確認アプリ設定説明会 …… 28

令和6年度新川ブロック保険実務講習会…………… 29

役員保険意見交換会報告…………… 30

Nat's（新川アスレティックトレーナーズ）保険講習会報告 …… 30

○事業部

文部科学大臣杯争奪第33回日整全国少年柔道大会

第14回日整全国少年柔道「形」競技会…………… 31

第14回日整全国少年柔道「形」競技会表彰式…………… 32

○スポーツ委員会（救護・トレーナー活動）

富山県中学校柔道選手権大会…………… 33

第44回北信越ブロックスポーツ少年団競技別

交流大会 柔道競技…………… 33

第27回滑川はたるいかマラソン…………… 34

富山マラソン2024…………… 34

第47回全国高等学校柔道選手権大会富山大会 …… 35

第31回扇状地マラソンinにゅうぜん …… 36

令和7年富山県柔道選手権大会・富山県女子柔道選手権大会 …… 36

○介護委員会

介護予防高岡グループ…………… 37

○災害対策委員会

令和6年度富山県総合防災訓練…………… 38

令和6年度災害対策委員会体験講習会…………… 39

○各ブロック報告

令和6年度富山ブロック学術研修会…………… 40

令和6年度高岡ブロック学術研修会…………… 41

令和6年度新川ブロック学術研修会…………… 42

令和6年度砺波ブロック学術研修会…………… 43

◆富山県柔道整復師協同組合

令和6年度富山県柔道整復師協同組合第2回理事会 …… 44

令和6年度第2回（公社）富山県柔道整復師会・富山県柔道整復師協同組合

親善ボウリング大会…………… 45

◆日本柔道整復師会北信越ブロック会

北信越ブロック親善ゴルフ富山県大会…………… 46

長野県柔道整復師会創立100周年・社団法人設立55周年

長野接骨師協同組合設立30周年記念式典…………… 47

令和6年度日本柔道整復師会北信越ブロック会理事会 …… 47

◆公益社団法人日本柔道整復師会

第30回日整学術・生涯学習講習会…………… 48

日整社団設立70周年記念式典…………… 49

◆各地区富山県柔道整復師会

令和6年度砺波地区柔道整復師会 臨時総会懇親会 …… 50

令和7年度高岡地区柔道整復師会 新年会 …… 50

令和7年度新川地区柔道整復師会 新年会 …… 51

令和7年度富山地区柔道整復師会 新春懇親会 …… 52

◆各市柔道整復師会・接骨師会

令和6年度砺波市接骨師会定時総会…………… 53

令和6年度射水市総合防災訓練…………… 54

令和6年度砺波市総合防災訓練…………… 55

射水市柔道整復師会保険実務講習会…………… 56

◆投稿

富山臨床接骨学研究会活動報告…………… 57

第13回浩柔・響柔グリーン会ゴルフコンペ…………… 58

新川ブロック 新田博康会員…………… 58

◆会員異動

◆訃報

◆広告

◆編集後記

柔整

宇奈月温泉雪上花火大会

富山県黒部市の宇奈月温泉は黒部川の電源開発を背景に1923年に開湯された温泉地で1月～3月の毎週土曜日20：30分から冬の澄み切った夜空に花火が打ち上げられ温泉街に迫力ある音が響き渡ります。

（題字）会長 木下 隆男

広報の表紙は本会の公益的立場から紹介しています。

巻 頭 言



公益社団法人富山県柔道整復師会
会 長 木 下 隆 男

2025年の年頭に当たり新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、年初の能登半島地震に続き9月には能登暴風雨災害がありました。

未だ復興半ばと伺っており、関係各位にはあらためてお見舞いを申し上げます。

また12月には「マイナンバー資格確認制度」がスタートし、皆様にはそのご対応に注力いただき、ほぼ全会員での設定が完了したと伺っております。

当会としては、同様の事象の発生や社会環境の変化に対し、「救援活動システム、組織連絡連携システム」を活用して今後とも会員の皆様へのサポート継続を図る所存であります。

さて、会長職をお預かりしてから10カ月が経過いたしました。

「協働と再燃」を基本方針とし、柔道整復師を巡る環境の変化をふまえて、さらには当会の将来像も見据えてその体質改善に挑んできたものであります。

- ・財務体質の改善を図るべく、役員手当削減、慶弔見舞金見直し、常務理事制度の廃止による役員総数の削減、顧問税理士等各種契約の見直し等々
- ・会務活動の効率化を図るべく、リモート会議の導入、研修会実施の統廃合等々
- ・学術と論文研究面の活性化を図るべく、接骨医学論文作成研究会の改編とその活動への支援制度の明確化
- ・社会的な要請に応えるべく、柔整とやま等の配布印刷物数の適正化によるペーパーレスへの取り組み
- ・会員相互と一般社会への情報発信を図るべく、ホームページの拡充
- ・会員の施術営業を実のあるものとすべく、長期未払い案件に関する各健康保険組合への状況照会等の活動
- ・会員の生活を守るべく、(医療機関や施術所を対象とする)「富山県光熱費等高騰対策緊急支援事業費補助金」の実施に関しての県議会議員団との折衝
- ・適正な診療報酬請求を実現すべく、負傷部位の算定方法の是正、レセプト記載の基本的事項についての会員へのサポート等々

これらには一定の成果を為したものもありますが、引き続きの工作が必要なもの、今後さらに幅広い対応が必要なものもあります。

そして当会の最大の課題には、新入会員の確保、会員数の増加維持があります。既に入会金については4月からの引き下げを決定しており、また会員ご家族への入会要請も対応しておりますが、加えて「なぜ他の競合団体加入者(個人契約含む)は増加し、当会は減少しているのか」をポイントとし、従前までの当会の常識や観念に捕らわれずに真正面から向き合っていかなければならないものと考えて次第であります。

結びに、本年の干支は「乙巳(きのとみ)」で、これは蛇が脱皮を繰り返しながら成長していく様子を表し、「変革を重ねながら新たな発展の段階へ進む」という意味が込められています。当会においても変化の波を恐れることなく、むしろそれを成長の機会として捉え、今一度「協働と再燃」の方針をもとに新たな挑戦の1年にしていきたいと思います。

会員ならびにご家族の皆様のご多幸を祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

富山県知事 新田 八朗

新年明けましておめでとうございます。輝かしい令和7年の初春を富山県柔道整復師会の皆様とともに寿ぎたいと存じます。

わが国伝統の柔道整復術は、古くから、人間の自然治癒力を発揮させる療法として親しまれており、最近では、スポーツをする際のコンディションの調整や高齢者の身体機能の向上、介護予防などにおいても活用されています。

皆様には、日頃から柔道整復術を通じ、地域の健康増進に格別のお力添えをいただき、改めて深く敬意を表し、感謝申し上げます。

さて、皆様のご支援をいただき令和6年11月に知事として2期目の任期が始まりました。引き続き「県民目線」、「スピード重視」、「現場主義」を大切にした県政運営に努めて参ります。新たに県民の皆様にお約束した「未来に向けた人づくり」と「新しい社会経済システムの構築」の二本の柱のもとに100の具体策の実現に取り組みます。

去年は年明け早々に能登半島地震が発生し、被災された方々の支援、地域の復旧に全力で取り組んで参りましたがまだ道半ばです。引き続き、災害復旧や減災・防災対策はもとより、県民の皆様の命と暮らしを守ることを最優先に必要な対策に取り組みます。

そして、若者からお年寄りまで希望に満ちた笑顔があふれる富山県、ワクワクすることがたくさんある富山県、チャンスがあり夢を叶えることができる富山県の実現に向けて一層努力してまいります。

健康を保つことは、生涯にわたり健やかで、心豊かな生活を営むなど、「ウェルビーイング」を高めるうえでとても大切なことです。皆様には、今後とも、県民の健康の増進、そして県民の皆様のウェルビーイングの向上に一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が富山県柔道整復師会にとりまして飛躍の年となりますよう、また、木下隆男会長をはじめ会員の皆様のご多幸をお祈り申し上げまして、新年のご挨拶といたします。



新年のご挨拶

衆議院議員 橋 慶一郎

明けましておめでとうございます。皆様には、ご家族お揃いですがすがしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年元旦夕刻、能登半島地震が発生し、県内にも大きな被害をもたらしました。先生方にも種々ご苦労があったものとお見舞い申し上げます。液状化現象が生じた地域は復興に数年を要する状況であり、県・市の取り組みを国として技術面・財政面で支えます。

国際情勢は、ロシアのウクライナ侵略が収まらず、パレスチナなど中東でも緊迫した事態が続くなど、安全保障の重要性を痛感させられました。国内では、物価上昇が家計所得の伸びを上回る状況が続き、実質賃金はマイナス基調で、家計にご苦労をおかけする状況が続きました。デフレから完全に脱却し、「成長と分配の好循環」を実現する経済政策が強く求められており、併せて、人口減少対策、地方創生施策の充実も待ったなしと認識しています。

昨年秋の自由民主党総裁選で、私が四たび応援した石破茂議員が当選し、10月1日に石破内閣が発足しました。私も内閣官房副長官を拝命し、政権を支える立場となりました。続いて執行された総選挙では、先生方の心温まる力強いご支援により、6度目の当選を果たすことができ、県内3選挙区も勝利することができました。しかし、全体として我が党の一部派閥の政治資金不記載問題に対する有権者の厳しい審判により、与党が過半数を割る結果となりました。

厳しい状況下、内閣として、選挙結果を深く反省し、臨時国会において政治資金規正法の改正を実現するとともに、総合経済対策に基づき、13.9兆円規模の補正予算を成立させ、経済を成長軌道に乗せるべく努力しています。来春の賃上げ等を通じて家計所得を増大させ、令和の新時代を切り拓いていく所存です。

先生方には、「道・学・術」一体に研鑽に励まれ、地域住民の健康な生活を支え、地域包括ケアシステムの主要な担い手として、健康寿命の延伸や介護予防の発現に尽力頂いております。スポーツ医学を含め、柔道整復術の学問的確立、診療行為としての位置付けの強化など、政治の立場から皆様の活動を応援すべく努めて参ります。

この一年の木下会長始め先生方のご健勝・ご多幸と、富山県柔道整復師会の一層のご発展をお祈り申し上げ、年頭のご挨拶と致します。本年もよろしくお願い致します。



新年のご挨拶

参議院議員 野上 浩太郎

公益社団法人富山県柔道整復師会の皆様方におかれましては、輝かしい新年をお健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃より、県民の健康増進と社会福祉向上に大きなご貢献を賜っておりますことに、深く敬意を表し、感謝申し上げます。

去年は、元旦に能登半島地震、9月には奥能登地方において豪雨災害が発災し、被災されました皆様に心よりお見舞いを申し上げます。また、皆様には、復旧復興に向けて、それぞれのお立場で大きなご尽力を賜っておりますことに、重ねて感謝申し上げます。国においても液状化対策の新たな制度を創設するなど、全力で復旧復興を推進しておりますが、未だ道半ばであり、更に加速させなければなりません。昨今、災害が激甚化しており、国土強靱化、災害への備えも着実に進めていくことが重要です。

また、現在、日本は、物価高、人口減少、激甚化する災害、地方創生、厳しい安全保障環境など、国内外で困難な課題に直面しており、私自身もその解決に向けて全力で職責を果たして参ります。

貴会では、マイナンバーをはじめとした“デジタル化”“IT化”の進展に伴う『マイナンバー資格確認制度』の取り組みや人口減少・少子高齢化社会の中での『組織存続に繋がる会員減少・新会員の減少』など課題が山積していると伺っております。

一方で、接骨学術研究会や匠の技伝承プロジェクト、マラソン大会やスポーツ大会等の応急救護やスポーツマッサージの実施、青少年健全育成のための柔道大会開催など、献身的な活動を展開されておられることは、誠に意義深いことと存じます。

また、县市町村の総合防災訓練への参加や災害対策講習会、介護予防教室の開催など、地域社会で果たされる貴会の役割や社会的な意義は益々重要となっております。私も皆様方と共に、県民の健康増進と社会福祉向上のため、全力を尽くして参りますので、引き続き一層のご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

結びに、富山県柔道整復師会の益々のご発展と、木下隆男会長はじめ会員の皆様方のご健勝、ご多幸をご祈念申し上げ、ご挨拶と致します。



ご挨拶

衆議院議員 田 畑 裕 明

新年あけましておめでとうございます。公益社団法人富山県柔道整復師会の皆様方におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

木下隆男会長はじめ会員の皆様方には日頃より日本伝統医療である柔道整復術の発展はもとより身近な地域医療機関として予防医療や健康維持増進に大きくご貢献いただいております。心より感謝申し上げます。

永年富山で開催されるスポーツイベントなどにトレーナーブースを設置して精力的に活動されるなど、皆様方の活動範囲はより広がりを見せ地域密着型の診療所や機能回復型の施設など、新たなサービス提供につながっているものと考えます。

さて、昨年5月に自民党雇用問題調査会のもとカスタマーハラスメント対策プロジェクトチームが発足し、私は初代座長に就任いたしました。「カスハラ」は多くのサービス業が頭を悩ませる課題であり接骨院・整骨院も例外ではなく、「カスハラ」の相談を受けやすい体制やハンドブック活用など側面的な支援も検討し、法整備により接骨院整骨院と事業所スタッフを守り一人ひとりが安心してやりがいをもって働くことのできる環境づくりに努め、皆様に寄り添ってまいります。そこから皆様の生の声を頂きながらそれを政治に反映させるべく「舵取り役」として丁寧に党内議論を主導し方針を決定するよう尽力してまいります。

また、昨年12月には自民党柔道整復師会顧問議員の一員として明治記念館にて日本柔道整復師会社団法人設立70周年記念祝賀会に出席する機会を与您いただきました。柔道整復師の先生方の地域に根ざした活動をしっかりお支えする決意をさらに強くいたしました。

医療福祉分野を取り巻く環境は厳しさを増すと予想されますが、これからも皆様方と手を携えて課題解決に取り組む所存です。変わらぬご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

結びに貴会の今後益々のご発展と会員の皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げご挨拶といたします。



新年のご挨拶

衆議院議員 上田 英俊

新年明けましておめでとうございます。富山県柔道整復師会の皆様方には、令和7年の初春を健やかに迎えの事とお慶び申し上げます。皆様方には、「施術」を通して、「人」と「街」の健康づくりにご尽力頂いております事に敬意を表します。また、昨秋の衆議院解散・総選挙におきまして、力強いご支援を賜りありがとうございました。全くの逆風の中でしたが、おかげさまで2期目の当選をさせて頂きました。「政治とお金」の問題で、政治家不信が拡大し続けています。富山県庁の正面玄関の横に1つの石碑があり、こう刻まれています。「爾俸爾禄 民膏民脂 下民易虐 上天難欺」。「公」の職業に携わる者の心構えを説いた言葉であり、この戒めの言葉を肝に銘じて、1つ1つの課題に真摯に向き合い、そして、結果を出して参ります。

「- the next one -」。ある職業人が、「あなたの最高の仕事は？」と問われた際に、「- the next one -。次の仕事です！」と答えたそうです。

「明日のために！ 未来のために！ - the next one -」の想いで、「人口減少、少子高齢化社会の中で、日本はどうあるべきか？」、「県・市町村の要望の実現に向けて、どう取り組むべきか？」、具体的には、「1人1人の生命・財産を守るために - 防災・減災・国土強靱化の推進！ -」、「実効性のある少子化対策 - 産み・育てやすい環境・制度の充実 -」、「産業支援・雇用支援 - 安全・安心のスタートラインは安定した雇用から -」、「教育は国家百年の計 - 未来を切り拓く人材・人財の育成 -」、「農林水産業・生命産業の振興！食料安全保障の確立！」、「セーフティーネットの再構築 - 持続可能な社会保障制度に向けて！ -」、を主な政治課題として択え現場の声を聴き、そして、その現場の声が、発言の力、説得力になって参りますので、引き続きのご指導をよろしくお願い致します。

今後も、富山県柔道整復師会のご発展と皆様方のご多幸をご祈念申し上げます。本年もよろしくお願い致します。



新年のご挨拶

参議院議員 堂 故 茂

新年あけましておめでとうございます。富山県柔道整復師会の皆様には、穏やかな初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃より皆様の大きなお支えをいただいておりますことに御礼を申し上げますとともに、地域住民の健康維持増進やスポーツマンなどのケアのみならず、介護予防の地域活動などを通して、福祉分野でも大いにご貢献いただいておりますことに、衷心より敬意と感謝を申し上げます。

昨年は元日に発災した能登半島地震が、私たちの生活や社会・経済活動に大きな影を落とす大変な一年になりました。会員の皆様の中には不自由な生活を強いられたり、患者様への施術に支障をきたしたりされた方もいらっしゃるかと存じます。今回の地震の特徴である「液状化」による甚大な被害が県内各所で見られたことから、国は様々な支援制度を創出し、迅速な対応を心掛けました。被災された皆様には心よりお見舞いを申し上げますとともに、県や市町村とも力を合わせて復旧・復興に向けての更なる努力をして参りたいと考えています。

私は一昨年9月に国土交通副大臣を拝命し、おかげさまで昨年11月までの14ヶ月間、その任を務めることができました。この間、能登半島地震の震災対応や社会資本整備など我が国の国土交通行政を前に進めるため、全力を尽くして参りました。退任後の11月からは参議院「文教科学委員会」の委員長という職をいただき、教育を通して「ふるさとに根っこがある人づくり」をしっかりと進めていく決意を新たにいたしました。

今年は7月に参議院選が予定され、私も候補者として、党本部から公認決定をいただきました。皆様のお支えをいただきながら全力で闘い抜くとともに、これまで以上に皆様のお役に立つことができるよう頑張ってお参ります。

会員の皆様には、引き続き更なるご支援をお願い申し上げますとともに、本年が御会と会員の皆様にとりまして輝かしい一年となりますようご祈念申し上げ、また、世界に認められる日本伝統の「柔道整復術」の更なる認知度アップと皆様の一層のご活躍、ご貢献をご期待申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。



ご挨拶

富山県議会議長 山 本 徹

明けましておめでとうございます。

柔道整復師会の皆様には、清々しい新年をお迎えになられましたこと、心よりお慶び申し上げます。

去年は、能登半島地震に始まった波乱の一年でした。被災された先生方はもちろんのこと、幸いに無事だった先生方も、何かとご苦勞の多い一年だったのでは無いかと拝察いたします。富山県の11月補正予算の中で、物価高騰で苦しい診療所の運営に、少しでも貢献できたとすれば、嬉しい限りです。

そうした中、7月に総選挙が行われました。モヤモヤがなかなか晴れないパーティー券販売の還流問題で厳しい逆風下での選挙でした。全国的には自民党が負けた選挙となりましたけど、富山県においては、皆様の粘り強いご支援のおかげを持ちまして、1区、2区、3区とも、議席を確保する事ができました。あらためて感謝申し上げます。

昨年4月に、森田 満 副会長にご足労頂き、田畑 裕明 衆議院議員と一緒に、(公社)日本柔道整復師会の長尾 惇彦 会長と面談させていただきました。やわらかい物腰の先生でしたが、柔道整復師会の改革の話になりますと口調が強くなり、改革への思いを熱く聞かせて頂きました。

柔道整復師は、「ほねつぎ」として、国民の皆様から深い信用と信頼を得てきたが、今はその信頼が揺らいでいる。会員一人一人が、志を高く持って業にあたり、信頼回復に努めたい。私が掲げる第1の目標は、患者さんである国民からの「信頼と協調」です。こういったお話をされました。政治の信頼も失墜している今日、私も深く感銘を受けた次第であります。

幸い富山県の柔道整復師会は、患者様や地域の信頼があつく、元旦の震災にも頼れる診療所として、地域住民の皆様の不安に寄り添い、心と体の健康のために力を発揮されました。大変ありがたい事と感謝申し上げます。

さて、石破総理は、年頭のごあいさつで、地方創生2.0を強力に推し進める、と明言されました。富山県議会議員として、このことを良とし応援しながら、本県発展のため微力を尽くしたいと思います。

結びに、富山県柔道整復師会の益々のご発展と会員の先生方のご多幸、震災からの復興を心から祈念いたします。本年もどうぞよろしく申し上げます。



新年のご挨拶

富山県議会議員 米原 蕃

皆様には、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。平素より格別のご厚情を賜り心より厚く御礼申し上げますとともに、本年もどうぞよろしく願いいたします。

はじめに、令和6年元日に発生した能登半島沖地震、そして9月の豪雨災害によって被害に遭われた方々に心からお見舞い申し上げます。北陸は自然災害の少ないエリアだと思っておりましたが、まさかの出来事に驚きを隠せません。しかし、このまさかが起こりうる世の中にいかにして対処すべきか。今回の災害を教訓とし、万全の備えを心がけていきたいという思いを致しております。改めまして、被災地における一日も早い復旧・復興を心よりお祈りいたします。

さて、日本漢字能力検定協会がその年の世相を表す字を今年の漢字として公表する催しは、昨年末も京都、清水寺で行われ、森清範貫主が「金」と揮毫されました。この漢字は一般公募により決定されるそうで、パリで開催されたオリンピック・パラリンピックで魅せた日本柔道をはじめ、数多くの金メダルを獲得した日本選手団の活躍が明るい話題と言えるでしょう。一方で新紙幣の発行もあれば、金の高騰、また裏金問題があり、明るい話題ではないものも注目を集めた理由のようです。インタビューに応じた森貫主は、「日本の情勢や世界の世相を考えて、“和”という字が書けるような社会になってほしい。社会も人も調和することが望まれているのではないか」と発言されていましたが、私も令和7年は災害がなく、社会と人が調和する、「和」が選ばれることを切に願っております。

近年、世界では不安な出来事が続き、我が国では少子高齢化がますます進んでいます。何事も簡単ではない時代ではありますが、私たち人間が求めているものは火を見るより明らかではないでしょうか。そして社会も人も調和し、いつまでも健康であるためには貴会の役割もより一層期待されていくことでしょうか。年頭にあたり、私も皆さんと心を合わせ、社会も人も調和するための活動に貢献したいと考えているところでございます。

令和7年が富山県柔道整復師会の会員の皆様にとって、素晴らしい年となりますようご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

富山県議会議員 鹿熊 正一

令和7年の年頭に当たりご挨拶申し上げます。

旧年中は、会員の皆様から温かいご指導ご支援を賜わり心よりお礼申し上げます。

先生方は、専門知識と伝統医療技術により介護予防や県民の健康維持増進を図り、また災害被災者の救援活動や児童の健全育成等の社会貢献活動に積極的に取り組まれ、深く敬意の念を表します。

本年も、県政の一番の課題は、能登半島地震に被災された方々の生活再建と被災地の復旧・復興であり、引き続き関係機関が一丸となって取り組む必要があります。

さて、昨年10月の衆議院総選挙の結果、第2次石破 茂内閣は少数与党となりましたが、熟議と決断により、国内外の諸課題が前進することを願います。

私は、「安全安心そして希望」を本年の活動方針としました。県民の皆様の様々な危険と不安を少なくすることにしっかりと取り組む所存です。そして、特に子どもや若者が希望の持てる社会を同志と力を合わせて創ってまいりたいと思います。

本年の干支は「乙巳（きのとみ）」と呼ばれ、特に再生や変化を象徴する年とされ、また一般的に「努力を重ね、物事を安定させていく」年とされています。皆で頑張れば希望の光が見えてくると信じます。

何卒、本年も、会員の皆様のご指導ご鞭撻を賜わりますよう心よりお願い申し上げます。

結びに、公益社団法人富山県柔道整復師会の限りないご発展と会員の皆様のご健勝、ご活躍、ご多幸を心よりお祈り申し上げます。



ご挨拶

富山県議会議員 宮本 光明

皆様方には、令和7年の新春を健やかに迎えになったこととお喜び申し上げます。
昨年1月1日に発生した能登半島地震を思い起こしますと、今も不自由な生活を余儀なくされ復旧・復興にご尽力されております方々にお見舞いを申し上げますとともに敬意を表するものです。

公益社団法人富山県柔道整復師会の皆様におかれましては、日頃より技術・知識・資質の向上に取り組まれ、県民や地域により身近な診療機関としてご尽力されており、こうした災害の折にも地域住民の支えになって頂いておりますことに心より感謝申し上げます。

今後も、新型コロナウイルス感染症など未知の感染症や、各種災害の頻発化・激甚化に加え、人口減少や高齢化の進行など私たちを取り巻く環境は大変厳しいものがあります。

そうした中であっても、県民の健康維持や増進は最優先課題であり、患者様に直接触れ診療や治療をされる皆様の役割は日増しに高まっていると痛感しております。

皆様には、医療従事者としての明確な対応が国においても未だ確立されていない現状は、憂慮すべきことと感じておりますが、柔道整復師会の皆様が今日まで重んじてこられた心・技・体の精神のもと、医療としての役割は極めて重要と認識しております。

皆様方におかれましては、地域に根差した身近な診療機関として引き続きご活躍頂きますことをご期待するものです。

結びに、公益社団法人富山県柔道整復師会のますますのご発展と、会員の皆様のご健勝とご多幸、ご発展を祈念申し上げご挨拶といたします。



ご挨拶

富山県議会議員 五十嵐 務

令和7年の新春を迎えるにあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げますとともに、会員の皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

昨年元旦に発生した能登半島地震では、人的被害のほか、液状化現象の影響で甚大な住宅被害や公共施設や工場の施設・設備の損傷など、県民生活や事業活動に大きな影響を及ぼしました。復旧・復興を迅速に進めていかなければなりません。

富山県においては、人口が100万人を割り込むなど人口減少・少子高齢化が進み、県政は大きな転換が求められています。また物価高騰が続くなど多くの課題があります。

県民が一体となって、我々を取りまく社会課題の解決に向け挑戦していかなければなりません。

先生方には、今後もさらに県民の健康維持・増進に寄与していただくとともに、医学的学術研修や介護予防公衆等に積極的に取り組んでいただき、柔道整復師の資質向上に努めていただきたいと思います。

結びに柔道整復師会の益々のご発展と会員に先生方のご健勝・ご多幸を祈念いたしましてご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

顧問 四方正治

新年あけましておめでとうございます。昨年は元旦に衝撃的な能登半島地震で幕明けとなりましたが、多分皆様ももしかして今年も地震での幕明けになるのではないかと心配されたかもしれません。幸い静かな新年となったことに胸をなで下ろしておられることと存じます。柔道整復師会会員の皆様には、それぞれ希望を持って新しい年をお迎えになったと思っております。私も生涯青春の気持ちで今年も元気で日々を過ごしたいと思っております。

さて、最近の世の中を見回してみますと少子高齢化が進み地域の存続が厳しさを増していると言う話を聞くことが多くなりましたが皆様は、どの様に考えていらっしゃいますか。

確かに人口減少時代になりましたが、その時代にあった生き方があるのではないかと思っております。多分皆様も創意工夫をしながら患者さんの治療に専念しておられると思っております。日々進化する補助機械の導入など設備投資も大変だと思いますが、的確に実施していくことも大切だと感じます。高齢者を如何に元気で長生きしてもらって、少しでも世の中の役に立ってもらうようにすることは、皆様にかせられた大事な課題だとおもいます。勿論若者達にも適確な治療を施して行くことは言うまでもないことであります。

少し話が変わりますが、昨年の総選挙で自民党が公明党との連立政権で過半数を割る歴史的な大敗を招いてしまい、少数与党として石破政権は野党の意見もとりにいれて慎重に国会運営をせざるを得ず、これまでのような与党だけで政策をまとめて予算や法律を通すことができなくなりました。正に熟慮する国会とならざるを得なくなりました。これまでと違って野党も責任ある議論展開をしなければならなくなりました。現状では、野党もすぐに政権交代をすることはできず、今年実施されます参議院選挙で自公連立政権を過半数割れに追い込み、いつあるか分からない衆議院選挙において自民党を超える当選者を出し比較第一党に野党のどこかの党がならなければ政権交代は、難しいと思えます。したがって政権を安定させるためにも参議院選挙に勝ち抜いて行かなければなりません。ただ、最近は選挙のやり方も多様になってきていてSNS等で支援者を拡大するなどして予想外の結果が生まれたりしていますね。時代にあった様々なやり方で勝ち抜いていかねばなりません。

結びになりますが、トランプ現象等で世界もこれまで築き上げてきた価値観が揺らいでいますが、今こそ我が国が指導力を発揮して世界の平和実現に向けて国民世論を盛り上げて行かなければなりません。その為には世界をリード出来るしっかりした政権を作ることが極めて大切であります。従いまして柔道整復師会の皆様の日頃の患者さんとの何気ない会話が大きな輪となって時代を変えていく力になると思えます。どうか皆様におかれましては健康に十分に気を付けてご活躍されますと共に柔道整復師会の益々のご発展を祈念申し上げご挨拶といたします。

公益社団法人富山県柔道整復師会

理事会報告

公益社団法人富山県柔道整復師会 第2回理事会 報告

日 時：令和6年7月28日(日)
午前10時～午前12時
会 場：接骨会館3階会議室 及び WEB会議
出席者：(理事18名 全員出席)
(監事2名 全員出席)
(事務局1名 出席)



木下会長挨拶

今回、初めてのリモートでの開催であり、運営については今後とも改善を進めます。

現在、当会運営に関して、各部・各委員会に改革の検討を進めていただいております。「協働・再燃」の方針にて対応を願いたいと考えます。

また「各理事から提出いただいた提案」に関しては、テーマを絞って本年度下半期より実施していきたいと考えます。

保険部の課題として、本年12月2日の紙保険証の新規発行廃止をふまえて、マイナンバーカードでの資格確認の登録設定作業に今後とも協力を願います。

広報部にもペーパーレス化を促進させるべく多様の対応を試みているものであります。

最後に、能登半島地震見舞金に関しては後ほど報告もありますが、日整からも、当会に20万円の見舞金を頂ける事になったことを報告して、私の挨拶といたします。

1. 決議事項

①名誉会員の決議修正の件 稲垣晃一会員 来春に再決議

北川局長から、本年4月の理事会で承認された名誉会員承認の件につき、条件確認に誤りあり、来春に再度決議としたいとの説明あり。

異議なく承認

②当会の療養費総括表等の保存期間を7カ年と定める件

北川局長から、過去の帳票資料の保存と廃棄に関して顧問山本弁護士からの指導もあり、保存期間を7カ年とするものと理事会として承認願いたいとの説明あり。

異議なく承認

③学術大会などへの助成金取扱い変更の件

森田総務部長から、次の説明あり。

北信越ブロック学術大会に向けて、論文応募については本数に関わらず助成金2万円を支給し、発表者にはさらに2万円を支給する。また、前夜祭への参加者補助、聴講者への補助も「理事会決議による運用」として仔細明記したい。

異議なく承認

④職員の夏季賞与の件

森田総務部長から、令和6年度夏季賞与として令和6年9月13日付で総額1,753,200円にしたいとの説明あり。

異議なく承認

⑤「表彰・慶弔・見舞金規定」の特例として村上幸史会員に「祝い金」5万円

贈呈の件（ご子息のオリンピック出場にともなう祝い金）

眞田副会長から、資料に基づき説明あり。

異議なく承認

⑥最低賃金制度の改定にともなう職員2名の給与額変更の件

北川局長より次のように対応したいと説明あり。

今年度の最低賃金制度の見直しをふまえ、令和6年10月分から職員2名の給与額を変更したい。なお審議会での結論の内容によっては、その対応を正副会長に一任としたい。

異議なく承認

2. 報告事項

①R6年能登半島地震見舞金の結果報告

大野災害対策委員長から、次のように結果報告あり。

当会から会員への地震見舞金実施は 総件数101件 総金額 2,520,000円

他方、当会への各県柔道整復師会からの地震見舞金は 総件数17件 総金額2,544,000円(木下会長の冒頭での挨拶にあった日整からの見舞金受領見込みは算入未済)

報告として了承

②「柔整とやま」の配布意向調査報告

大野広報部長から、調査結果報告とともに今後の対応についての方針説明あり。

「柔整とやま」配布希望 138名 配布希望せず 312名

なお、日整広報「Feel Go！」について、「柔整とやま」の配布希望なき先へは未配布とすべく検討するが、「つなぐ手」は引き続き全会員宛に配布する。

報告として了承

③「オンライン資格確認」への準備状況報告

井田保険部長から、報告有り。

過日のアンケート結果に伴い、今後とも各ブロックの理事と担当者できめ細やかな対応をしていただき、全会員が対応出来るように努めたい。

報告として了承

④「社団存続に向けて 理事会提案書」とりまとめ結果報告

森田総務部長から、報告有り。

各理事から提出の提案を取りまとめたもののうち、その中から11月の理事会に向けて具体化を進めたい。

報告として了承

⑤(公社)日本柔道整復師会との意見交換会報告

森田総務部長から、結果報告有り。

長野で開催されました意見交換会に際し、各理事からの質問に関して、日整の長尾会長より資料に記載の回答を頂いたとの報告あり。

報告として了承

⑥事業報告等 県当局への定例業務報告は完了
北川局長から、県当局への定例報告に関し、特に課題なく終了したとの報告あり。

報告として了承

⑦職務執行状況報告 令和6年2月～7月分まで
北川局長から、正副会長と常務理事から職務執行状況報告の提出があったとの報告あり。

報告として了承

⑧KNB24時間テレビ 本年は見送り

北川局長から、昨年まで対応していた「KNB24時間テレビ」について、先日の常務理事会で今年は参加見送りとなったとの報告あり。

報告として了承

3. その他

①「学術論文作成研究会」についての方針提言

島田学術部長から、説明と提言あり。

論文作成に関し、今後は各ブロック長に協力頂き、4ブロック輪番制にして論文を作成することとしたい。その為に新たに予算を設けることとしたい。

また北信越ブロック論文選定員の追加委員として、富山ブロックの、久水嘉智会員を推挙したい。

この提言に際し複数の理事から今後の方針として賛成との意見があり、理事会として、具体的な実施案を次回の理事会での議案として島田部長から提出されることを期待することとなった。

上記のように次回理事会への議案提出が期待されるもの

②各部、各委員会からの報告

【総務部】森田総務部長

11月の理事会までに、各理事の提案の中から重要項目を2～3点について、具体的な議案を提出願いたい。8月24、25日の北信越ブロックゴルフ富山県大会に協力を願いたい。

【保険部】井田保険部長

8月18日に富山ブロック、9月16日に高岡ブロック、10月27日に新川ブロックの保険実務講習会を開催する。なお砺波ブロックと富山県柔道整復師会の保険実務講習会については日程調整中である。

12月21日には役員向けの保険意見交換会を、来年3月には東海北陸厚生局から講師をお招きしての保険講習会を開催する。

令和6年度の料金改定について、改めて再度保険通知という形で通達を再出状(再送付)する。

【学術部】島田学術部長

7月21日に開催された、日整匠の技 技術講習会及び富山県学術研修会へのご協力に感謝します。今後は、11月10日に接骨会館で第3回匠の技フォローアップ講習会、来年2月に第4回匠の技フォローアップ講習会を予定しています。

【財務部】眞田財務部長

従来通り、会の会費収入を鑑みて、節約しながら必要な福利厚生を行っていききたい。

【広報部】大野広報部長

柔整とやま76号は8月に先生方に届くように制作しています。

【事業部】一ノ瀬事業部長

7月15日に開催された第33回日整全国少年柔道大会(富山県大会)並びに第14回日整少年形競技会

富山県大会は、男女138名が出場して熱戦を繰り上げられました。

全国大会では、輪番制で1名審判員の派遣が必要となり、富山県より澤田勝先生に参加

していただくことになりました。

来年（令和7年）6月28日に福井県で開催されます北信越ブロック柔道大会の予選会を、（令和7年）4月9日に高岡武道館で開催します。

【ICT委員会】 島田ICT委員長

富山県柔道整復師会のホームページを改善して、柔道整復師がしっかりと勉強をしているというエビデンスをアピールしていきます。

【介護委員会】 井田介護委員長

富山県柔道整復師会で作成したリーフレットを各地区の介護予防教室で配布させて頂きたい。希望があれば会に連絡して欲しい。

【スポーツ委員会】 眞田スポーツ委員長

10月13日に滑川市のほたるいかマラソンに10名の先生方の参加予定。11月3日に富山マラソンに23名程度の先生方の派遣を予定しています。

【災害対策委員会】 大野災害対策委員長

9月29日に令和6年度富山県総合防災訓練が黒部市を中心に行われる予定にて、JMATとして救護活動を行います。25名程度の先生方が参加の予定です。

9月22日に今後の活動予定についての委員会を開催予定ですが、年度末の全体会議について、今年度は中止とさせて頂きたい。

③その他

藤森理事から、地震見舞金の申請は締め切

られたのかと質問あり。

大野災害対策委員長より、既に締めきったとの回答有り。

林政良理事から、オンライン資格確認の助成金申請の事務についての質問あり。

これについて複数の理事から事例説明あり、林政良理事がメールにてオンライン資格確認の事務局に確認対応することとなった。

北川局長から、次の事務連絡あり。

- ・事務局は8月15,16日お盆休みとする。
- ・今回の理事会にて承認された北信越学術大会関連助成金について、6月の北信越ブロック長野学会分から適応ながら、具体的な振込は8月対応とさせて頂きたい。
- ・本日のWEB理事会に際し、自宅に参加の方には交通費は適応されません。

以上



公益社団法人富山県柔道整復師会 第3回理事会 報告

日 時：令和6年11月23日(土)

午後2時～午後5時

会 場：接骨会館3階会議室

出席者：(理事18名 全員出席)

(監事2名 全員出席)

(事務局1名 出席)

木下会長挨拶

過日に開催された日整全国少年柔道大会の形競技会において富山県代表が4位に入賞されました。誠に喜ばしいものと考えます。

当会の会務全般について、特に事業分野の在り方に改善の余地がありと考えるものにて、来期の予算計画もふまえて見直しを願いたい。

また全国的なニュースとして、AI技術を駆使用する事での審査期間の簡略化に期待が寄せられているとの報道もありました。

最後に、いよいよ12月からオンライン資格確認制度が開始にて、ほぼ対応準備は終了なのですが、今後とも各地区とも対応に努めていただきたいと思います。



(1) 決議事項

①上半期 会務報告

森田総務部長から資料に沿っての説明がなされた。

また、日整学術部員の立場として「匠の技」の会議予定（年4回）について森田総務部長から資料の補足説明がなされた。

異議なく承認

②上半期 決算報告 および監査報告

眞田財務部長から資料に基づき次を主旨とする説明がなされた。

会員減少により年間160～200万円の会費

収入減少が続いている。

他県からの地震見舞金143万円の受入れもあったが、収入全体としては昨年並みで推移している。

支出においては、顧問税理士の変更による40万円の委託費減少もあったが、会員の高齢化にともなう慶弔見舞金の増加が顕著にて、また地震見舞金第二次分もあり、全体としては僅かにオーバーとなっている。

以上のまとめとして、収支全体として若干のプラスを保ちつつあるも、東海の活動全般の見直しにより、その体質の改善が求められている。

参加理事から、減収傾向に対する具体的な対応施策についての照会あり。

眞田財務部長からは、現時点においては各活動の見直しによる経費削減に注力したいとの回答あり。

この後、水上重一監事、澤田勝監事から、令和6年度上期の会計及び業務における監査報告として、妥当に推移しているとの報告がなされた。

異議なく承認

③傷病見舞金と弔慰金の見直し、および健康診断助成の新設としての「表彰・慶弔・見舞金規程」の変更について

森田総務部長から資料に沿って、傷病見舞金の該当条件を入院5日から7日に変更としたい、また弔慰金については会員期間区別による金額を変更し、かつ配偶者などに対する支給条件を変更したいとの説明あり。

参加理事から、入院期間2日の違いについて照会あり、森田総務部長からは入院期間7日となる疾病が少なく、入院見舞金の対象として相応しいとの判断に至ったとの説明あり。その他、福利厚生の一環として再考すべき、弔慰金支払い実績の増加傾向から、その金額変更は必要だとの意見あり。

採決の結果、傷病見舞金の該当条件変更、弔慰金支給条件変更について異議なく承認眞田財務部長から資料に沿って、会員の健康増進と疾病早期発見を図るべく、健康診断にともなう助成を設けたいとの説明あり。参加理事からは、会員各々の健康管理について当会として介入の必要なし、助成による診断参加者が増加するか疑問、福利厚生制度のひとつとして要検討などの意見あり。さらに参加理事からの照会に対して、北川事務局長から「医師会側からは、受診人員数よりもむしろ働き方改革の観点から、休日での診断継続の可否について議論がなされているもようだ」との補足説明あり。

採決の結果、反対多数にて健康診断への助成は否決



④日本柔道整復接骨医学会学術大会 レセプション参加に関する助成の制定「理事会決議による運用・解釈」の変更について

眞田財務部長から資料に沿って、レセプション参加者への助成案の説明あり

参加理事から、レセプションに限定した助成新設は、一般会員には理解不可である、具体的な対応として一般会員からの誤解を招く等の意見あり。これに対し森田総務部長から、学術大会への参加者に対する日当や交通費の代替としての助成であるとの追加説明あり。

支給条件に「対象者を本会役員に限る」と追加修正のうえ承認

⑤「接骨医学論文作成研究会」に関する学術部内規定の制定と、その活動に対する手当等「理事会決議による運用・解釈」の変更について

島田学術部長から資料に沿い、論文作成支援体制として「接骨医学論文作成研究会」を学術部内に設け、本年8月に遡って手当交通費や会場使用料に対応したいと説明あり。大野分会長から、砺波ブロックにおける今期での活動実績として補足の説明あり。

異議なく承認

⑥北信越学会発表論文選定員の名称変更（評議員へ）および1名増員について

島田学術部長から、「北信越学会発表論文選定員」について「北信越学会発表論文評議員」へ名称変更するとともに、1名増員として、富山ブロックの久水会員を推薦するとの提案説明あり。

異議なく承認

⑦来春以降の事務局長および職員の給与手当について

森田総務部長から資料に沿って、最低賃金基準の引き上げもふまえ、また職員間のバランスにも考慮して9,000～12,000円の引き上げとしたいとの提案説明あり。

異議なく承認

⑧ (図書室)複合機の老朽化による入替えとリース契約締結について

北川事務局長から、図書室の複合機について導入から10年を経過しメンテナンスも困難になったことをふまえ、リース契約にて入れ替えをしたいとの提案説明あり。また、併せて、低価格のプリンターを備品として購入したいとの補足説明あり。

異議なく承認

入会承認の件 R6.7 加田 聖 (滑川市)
森田総務部長から、入会者1名について紹介あり。

異議なく承認

(2) 報告事項、その他検討項目

① 会員異動報告

森田総務部長から、退会者5名 9/末の会員数447名との報告あり。

報告了承

② 日整70周年記念式典関連 大臣表彰ほか

日整70周年記念式典に際して、木下隆男会長と河合優相談役に厚生労働大臣表彰、眞田克樹副会長に日整会長賞、大野重浩副会長に日整会長感謝状が授与されたとの報告があり、各々に記念品の贈呈がなされた。

報告了承

③ マイナンバー対応の状況について

井田保険部長から資料に沿って、マイナンバーカード保険証への対応は順調であり今後は未完了の4名の会員へのフォローに対応するとの報告あり。

報告了承

④ 令和7年度 予算案の策定に向けて
(各部各委員会の活動報告と今後の活動方針)

【総務部】 森田部長

・今後とも事業活動の全般の見直しを図るべく、5月の総会に向けて各部会を木下会長を含めて開催する。

年4回の理事会について1回はリモート開催といたし、各部各委員会においてもリモート開催を検討願いたい。

・定款、施行規則の見直しにも着手いたしたい。

【保険部】 井田部長

・12月21日に、返戻等に関する役員意見交換会を開催する。

・請求から1カ年を経過する申請書について、各保険者への照会を継続している。

・来年3月16日にゴルフアートとやまにて、東海北陸厚生局から講師を招いての保険実務指導講習会を開催する。

【財務部】 眞田部長

・さらなる経費削減による財務状況の改善に取り組む。

【広報部】 大野部長

・柔整とやま77号を来年2月に発刊予定である。

・つなぐ手の発刊を年1回に減少させ、柔整とやまの配布を希望者に限定させることで計28万円の経費の削減を図る。

・日整70周年式典について、写真掲載を木下会長と河合相談役の表彰授与のみとし、他の方はご氏名のみご紹介とします。

【学術部】 島田部長

・11月に「第3回匠の技指導講習会」が開催され、来年2月に第4回を予定のもの。

・富山県接骨学術研修会を廃止すべく、来年2月の理事会に議案を提出したい。

【事業部】

・11月に日整全国少年柔道大会ならびに形競技会が講道館にて開催されました。

柔道大会は1回戦にて惜敗しましたが、形競技会では水橋錬成館が4位入賞を果たしました。富山県として初の快挙であり、トロフィーなどの授与を検討願いたいと考えます。

・また、今後とも柔道大会であれば3位以上、形競技会であれば4位入賞以上の選手に対し何らかの賞の授与をしてはどうかと考えます。

この提案に対し、議長が諮り全員賛成とのことにて、今後、森田総務部長と事業部にて仔細を検討となった。

【スポーツ委員会】 眞田委員長

・各柔道大会の救護活動に関して、土曜日開催における救護員の確保が困難になっており、今後、その継続の可否について検討する。

・各マラソン大会での救護活動については、経費削減の観点から派遣人数を制限するが、その活動に対しては医師会などからの評価も高く、活動自体は継続する。

この報告に対し参加理事から、日整からの手当については別途に積み立てのうえ超音波観察装置の導入資金に充当させてはどうかとの発言あり。この場では取り扱わずに別の機会での検討課題となった。

【災害対策委員会】 大野委員長

・富山県の防災訓練に際しては、現状の40名程度参加を10名程度参加に削減する。

・来年2月、富山防災航空センターにて災害体験講習会を開催する。

・来年度から委員会としての全体会議および体験講習会について開催中止とする。

【ICT委員会】 島田委員長

・当会のホームページについて改良を重ねており、日々200名程度の閲覧がある。

・「院内掲示ポスター」、「柔道整復師とは」、「会

員のひろば」のリンクを作成したので活用を願いたい。

【介護委員会】井田委員長

- ・来年2月に、今年度全般を振り返っての委員会を開催する。

以上の各報告を了承

- ⑤その他 認定法の改正にともなう外部理事監事制度の導入など今年5月の認定法改正にと

もなって、外部理事と外部監事の導入が決定したが、今後、詳細を確認のうえで対応するとの事務連絡あり。

また、来年年始のレセプト提出に際しては、1月4～5日が土日となることもあり、郵便扱いの場合には、早めの投函を願いたいとの事務連絡あり。

以上

光熱費等高騰対策緊急支援事業（医療分）実施に関する要望書

日 時：令和6年12月10日(火)

場 所：富山県議会議事堂

柔道整復師を巡る経営環境の悪化を踏まえ、富山県柔道整復師会県会議員顧問団の米原審議員、鹿熊正一議員、五十嵐務議員、山本徹議員、宮本光明議員各位に光熱費等高騰対策緊急支援事業費補助金（医療分）として、県内各医療機関等への支援を当会正副会長が富山県議会議事堂へお尋ねしお願いしてきました。



事業報告

学術部

令和6年度 富山県接骨学術研修会

日 時：令和6年7月21日(日)
午後2時10分開始
場 所：パレブラン高志会館

学術部 藤森 和則

令和6年度富山県接骨学術研修会は富山県総合福祉会館での開催予定で準備をしていましたが、元日にあった能登半島地震にともなう建物損壊による長期休館のため、パレブラン高志会館に会場を変更し開催されました。当日37度を超えるたいへん暑い日にもかかわらず、210名の会員の参加がありました。木下隆男会長から、感染症拡大傾向にあるため、できるだけ感染症対策と高温等による体調不良への配慮についての指示がありました。

次に、『会員発表』が久水嘉智先生より行われました。今年6月16日にメトロポリタン長野で開催された第44回北信越学術大会長野大会で富山県代表として発表されたもので、力学的評価や施術評価を可視化する取り組みについての発表がありました。発表後に会長表彰が行われました。



『富山県接骨学術研修会 公開講座』は島田貞之大会実行委員長の開会の辞に続き、木下隆男会長のあいさつで始まりました。

この富山県接骨学術研修会は、昭和63年9月11日に日本接骨学会常任委員(当時)を務めておられた牧内与吉先生をお迎えして第1回が開催されてから数えること35回を迎えました。今回の特別講演の講師に、富山大学学術研究部・医学系・システム情動科学講座 研究推進機構・アイドリング脳科学研究センター 西丸広史教授をお迎えしました。特別講演の演題は、『心と体の動きの神経メカニズムの研究』です。

今回のご講演では、情動の定義の説明からはじまり、マウス実験を通して脳のメカニズムを写真やデータスライドを用いて我々柔道整復師にもわかりやすく説明していただきました。西丸教授の研究が医学の世界で困っている人を救ってくれるものになると感じさせられる特別講演でした。

特別講演終了後、森田満副会長から西丸教授への謝辞の後、一ノ瀬充大会実行副委員長の閉会の辞をもって終了しました。



令和6年度 第1回日整「匠の技」技術講習会報告

日 時：令和6年7月21日(日)
午前9時～
場 所：接骨会館3階会議室

匠の技技術指導員 原 誠

県学術研修会に先立ち、本年度から開始となった「匠の技」技術講習会が参加者44名と講師4名、ならびにSSBからエコー機材と3名のスタッフの協力の下開催されました。藤森和則学術部員の司会のもと、島田貞之学術部長の開会宣言の後、(公社)富山県柔道整復師会木下隆男会長より開会のご挨拶があり、「匠の技」技術講習会が開始されました。

(公社)日本柔道整復師会長尾淳彦会長より動画でのご挨拶のあと、橈骨遠位端骨折がテーマの動画を視聴した後、日整標準の整復固定法と固定材料の作成については前原征一指導員と原誠が担当し、エコー観察については大野重浩指導員と磯谷充律指導員が実技を行った後に4班に分かれ実技を行いました。整復固定では日整標準以上の技術を持った先生の見も出ており、エコー観察はエコー装置を初めて触る先生も散見され、会場は熱気にあふれていました。

最後に、(公社)富山県柔道整復師会森田満副会長の閉会挨拶があり、終了しました。令和7年度もこのような技術講習会を開催する予定ですので、会員の皆様の参加をお願いいたします。



第11回匠の技伝承プロジェクト（橈骨遠位端骨折）

日 時：令和6年11月10日(日)
午後1時～午後3時30分
場 所：接骨会館3階会議室
(各社団オンライン受講方式)

学術部 藤森 和則

第11回 匠の技指導者講習会が日整と各都道府県を結び、WEB開催されました。今回からフォローアップ講習となり、テーマは橈骨遠位端骨折の整復・固定および超音波観察の復習回でした。

式次第に沿って行われ、会長挨拶は長尾淳彦公益社団法人 日本柔道整復師会（以後日整に略する）会長が公務により欠席のため、竹藤敏夫日整副会長が代理挨拶をされ、次いで森川伸治日整副会長の挨拶、徳山健司日整学術教育部長から趣旨説明が話されました。

1.整復・固定施術技術実習が講師の山口登一郎先生により行われました。内容は整復・固定法の再確認、座学、実習。整復時の注意、固定はキャストライト固定とクランメル副子固定の2種類が

座学、実習されました。毎回、整復・固定とエコー観察とも3都道府県の日整で研修を受けた匠の技指導員が担当し、カメラの前で整復・固定、またはエコー観察を説明しながら行う施術、観察を講師がオンライン確認する形で行っています。今回、整復・固定は富山県の担当回で、原誠匠の技指導員がカメラの前で整復・固定施術し、山口登一郎先生にたいへん良いと評価を受けました。

2.超音波観察装置取扱技術実習が講師の小野博道先生よりエコー観察方法の再確認、座学、実習が行われました。①尺骨茎状突起をサイドからあてて線状高エコーをしっかりと出す。②リスター結節をランドマークにして舟状骨を見つける。③月状骨を見つけ、舟状月状骨靭帯損傷がないか確認する。等の注意事項の実技説明がありました。

質疑応答ではエコー観察の際でのプローブ操作等の質問がありました。

最後に、金子益美理事から総評と閉会の辞があり、第11回匠の技伝承プロジェクトフォローアップ講習が終了しました。



論文作成研究会の「システムと名称の変更」について報告

新名称：「接骨医学論文作成研究会」

学術部長 島田 貞之

全国的な傾向として、学術論文を作成する会員が徐々に減少しており、ここ富山県でも同様です。

日本柔道整復師会北信越学術大会・日本柔道整復接骨医学会などが継続開催されるためには、医療職団体の当会として早急に学術論文の作成ができる若手の人材を育成する対策を講じる必要がありました。

そこで、以前より多くの論文作成に携わってこられた先生方から、当時の問題点や改善されるべ

き事柄などをお聞きしたうえで、人材育成や指導方法などにおいて快適な環境や条件で論文作成に取り組んでいただけるよう、新しいシステムを構築しました。

この新システムは学術部内規定として、令和6年度から施行されることになりましたので、会員の皆さまにご報告致します。

【令和6年8月1日に遡って、実施された活動分から施行とする。令和6年11月23日(土) 理事会承認】

砺波ブロック 第1回 接骨医学論文作成研究会

日 時：令和6年8月28日(水)
午後8時30分～午後10時30分
場 所：大野接骨院

令和6年度から各ブロックで論文作成研究会を開催し、発表論文を作成提出して頂く事になりました。

北信越学会発表論文評議員が中心となり、ブロック長の協力と許諾を得てブロックの若手会員数名で論文作成をお願いすることになります。今年は砺波ブロックが受け持ち、次年度からは新川ブロック→高岡ブロック→富山ブロックの輪番制となります。名称も『接骨医学論文作成研究会』と改めました。



【活動会員の紹介】

論文評議員：齊田耕心会員

作成指導員：大野重浩会員

活動会員：畔田肇会員、水野克彦会員、関原大心会員の皆さんです。



島田学術部長が出席して、活動会員の先生方に新システムの概要説明と大きな期待が述べられました。

砺波ブロック 第2回 接骨医学論文作成研究会

日 時：令和6年9月24日(水)
午後8時30分～午後10時30分
場 所：大野接骨院

今回のテーマ

- 1) 各個人の論文テーマの検討、確定
- 2) 抄録の添削、校正 (3題)
- 3) 抄録完成者の添削、校正 (1題)
- 4) 研究データ収集の指導



砺波ブロック 第3回 接骨医学論文作成研究会

日 時：令和6年10月29日(火)
午後8時～午後10時
場 所：人母接骨院（斉田耕進会員宅）

今回は、北信越学会発表論文評議員の斉田耕進先生の接骨院に集合し、3回目の研究会活動が行われました。斉田先生指導のもと、畔田肇会員・水野克彦会員・関原大心会員の3名が、論文作成に一生懸命取り組んでおられます。…ご自宅でも日々努力されています！

今回のテーマ

- 1) 個人の論文テーマ変更検討、確定
- 2) 抄録完成者の添削、校正(2題)
- 3) 本文完成者の添削、校正(1題)
- 4) 研究データ、参考文献収集の指導



砺波ブロック 第4回 接骨医学論文作成研究会

日 時：令和6年11月26日(火)
午後8時～午後10時
場 所：人母接骨院（斉田耕進会員宅）

今回も、北信越学会発表論文評議員の斉田耕進先生の接骨院に集合し、第4回目の研究会活動が行われました。論文作成指導員の大野重浩副会長の指導もあり、畔田肇会員・水野克彦会員・関原大心会員は、論文完成を目指して真剣に取り組んでおられます。…道半ば、頑張ってください！

今回のテーマ

- 1) 抄録完成者の添削、校正（1題）
- 3) 本文完成者の添削、校正（1題）、
本文完成者の見直し（1題）
- 4) 研究データ、参考文献収集の指導



砺波ブロック第5回 接骨医学論文作成研究会

日 時：令和6年12月17日(火)
午後8時～午後10時
場 所：人母接骨院（斉田耕進会員宅）

今回は5回目の研究会です。各先生方には可なり頑張っていたいただき、3題の論文の完成が見えてきました。最終段階になると早く仕上げてしまいたいという焦りが出てくると思います。…落ち着いて、しっかり頑張ってください！

今回のテーマ

- 1) 本文完成者の確認（2題）
- 2) 本文完成者の添削・校正（1題）
- 3) 参考文献収集の指導
- 4) PowerPointの使い方指導



砺波ブロック第6回 接骨医学論文作成研究会

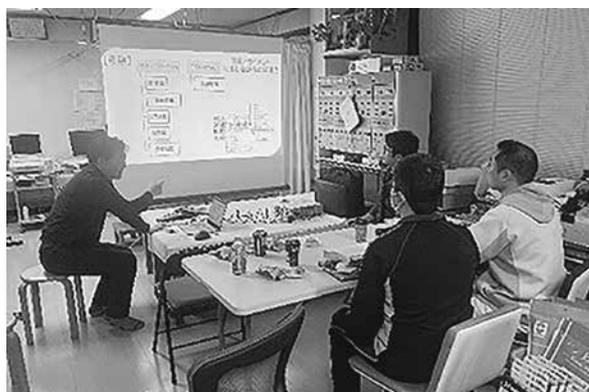
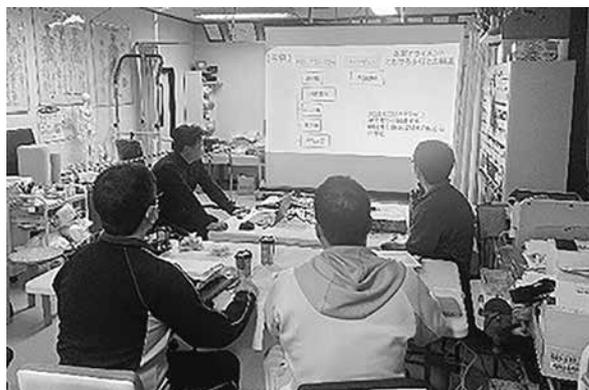
日 時：令和7年1月21日(火)
午後8時30分～午後11時
場 所：大野接骨院（大野重浩会員）

今年度は、論文募集までの期間が短い日程条件であり、作成していただく若い先生方の人選や声掛けから始まり、その先生方の心積もりや題材の下準備も無い状態からのスタートでした。そんな中で畔田先生、水野先生、関原先生にとっては初めてのことでしたが、可なり努力をされました。

通常は、5回程度の集まりで完成するものと考えていましたが、上記の理由で今年度は1～2回増となり7回で何とか完成するようです。…深夜まで大変だと思いますが、あと少し！

今回のテーマ

- 1) スライド作成指導 3題
（プロジェクターによる）
- 2) 論文発表のやり方



第33回日本柔道整復接骨医学会学術大会

日 時：令和6年11月30日(土)～12月1日(日)
場 所：東京保健医療専門職大学
東京都江東区塩浜2-22-10

日本柔道整復接骨医学会評議委員 大野 重浩

第33回日本柔道整復接骨医学会学術大会が東京保健医療専門職大学において、メインテーマは「柔道整復師～多様性の時代にどう生きるか」シンポジウムテーマは「災害時の柔道整復師の役割として」として開催されました。当日は北陸の雨ばかりの天気とは違い、東京では両日ともに晴天で、気温18度のぽかぽか陽気でした。全ての演題は聞けないため私の聞いてきた演題のみを紹介します。

招請講演（公開講座）では東京大学・政策研究大学院大学名誉教授、東海大学特別名誉教授日本医療政策機構終身名誉チェアマンの黒川 清先生の発表を聴講しました。

黒川先生は2000年7月に日本学術会議の自然科学部門担当の副会長に就任、2003年7月には会長に就任し2006年9月まで務めた先生で、2002年に日本柔道整復接骨医学会を日本学術会議に登録する際、ご尽力頂いた先生です。（専門職学位の創設）現在我々の学会が日本学術会議に入れているのも黒川先生のお陰です。

講演内容は日本の抱える問題、この30年間で主要国の中で日本経済だけが成長していないことや、日本を凋落させている原因としてタテ社会の

終焉や世界一の高齢化と認知症が問題となる。これはリスクでもあるがチャンスでもあり、日本の高い長寿率とそれを支える食事・栄養・運動に関する知恵と経験は世界中から注目されていて、日本が率先して国民医療のビッグデータを収集・活用し「成熟した長寿社会」を世界に示し、世界に先駆けて高齢化や認知症のコスト削減のノウハウで世界シェアをとる。30年停滞した日本を再び主要国の中で存在感を取り戻すことも可能である。このような感覚を為政者や起業家そして皆さんにも持ってほしいとの内容でした。

シンポジウムでは自然災害発災時に柔道整復師は何ができるか。地震災害の救護活動から見た役割とその教育等について先の能登半島地震の経験も交えての発表、シンポジウムが開かれました。分科会では基礎医学研究分科委員会において痛みの慢性化（線維筋痛症/慢性疲労症候群）についての疼痛のメカニズムとして一部の骨格筋の固有感覚の過活動と、脊髄の特定領域におけるミクログリアの活性化が観察され、活性化ミクログリアは各種炎症性サイトカインや化学伝達物質を分泌することにより疼痛を発症、増悪させること等を聴きました。

また口頭発表では軟部組織損傷、骨折、スポーツ障害を聴講しましたが、超音波での損傷部の観察が多く見られ柔道整復師の新たなツールとして発表にも多く使われています。2日間に渡り柔道整復師の新たな情報や知識を得ることができました。



保険部

令和6年度 保険部活動記録

【保険部】

- ◆R6.7.21 令和6年度富山県保険実務講習会
場所 富山県教育文化会館
- ◆R6.8.18 富山ブロック保険講習会
場所 富山県教育文化会館1F集会室
- ◆R6.9.16 高岡ブロック保険講習会
場所 伏木コミュニティーセンター
- ◆R6.9.29 令和6年度新川地区保険講習会
場所 新川文化ホール
- ◆R6.12.21 役員保険意見交換会
場所 接骨師会館3F
- ◆R7.2.11 砺波地区保険実務講習会
場所 津沢コミュニティープラザ

【各地区】

- ◆R6.9.1 富山地区マイナ資格確認アプリ設定研修会
場所 接骨師会館3F
- ◆R6.9.29 高岡地区マイナ資格確認アプリ設定説明会
場所 伏木コミュニティーセンター

【その他】

- ◆R6.11.10 整栄会保険講習会
場所 氷見市幸町 向島公民館
- ◆R6.12.15 Nat's保険講習会
場所 新川文化ホール

令和6年度（公社）富山県柔道整復師会保険実務講習会

日 時：令和6年7月26日（金）
午後2時～
場 所：パレプラン高志会館

保険部 前原 征一

令和6年度（公社）富山県柔道整復師会保険実務講習会が接骨学術研修会の前にパレプラン高志会館において開催されました。

井田保険部長より柔道整復療養費は令和6年度の料金改定により0.26%プラスに改訂され、電療料が33円の3円アップ、初検料が30円アップの1,550円となったが物価上昇分には満たない改定であることが報告されました。また現行の明細書発行体制（常勤職員3名以上）からレセコンを設置している施術所に拡大され、算定額は月1回13円から、10円に変更と会員には負担増となります。また長期・頻回受療に関する料金改定については少し複雑に改定されます。

現行の償還払いについては下記の4項目です。

- ①自己施術（柔道整復師による自身に対する施術）
- ②自家施術（柔道整復師による家族に対する施術、

柔道整復師による関連施設の開設者及び従業員に対する施術）

- ③保険者等が、患者紹介を適切な時期に患者に分かり易い照会内容で繰り返し行っても、回答しない患者
- ④複数の施術所において同部位の施術を重複して受けている患者が、償還払いの対象者となる。

上記の項目の他に⑤長期（5ヶ月以上）・頻回施術（10～15回）が加わります。

電療料と初検料の引き上げは6月よりすでに施行されており、明細書や長期・頻回に関する改定は10月施行と井田保険部長より報告されました。

最後に富山県柔道整復師会会員のオンライン資格確認の現況を理解しやすいようにグラフ化し報告され、保険実務講習会を終えました。



富山ブロック保険部講習会報告

日 時：令和6年8月18日(日)
午後2時～
場 所：教育文化会館

保険部 原 誠

上記日程で、ブロック別保険講習会を富山ブロック学術研修会に合わせて開催しました。古川信也理事の司会進行のもと、眞田克樹富山ブロック会長の挨拶があり、木下隆男社団会長のご挨拶ののち開始となりました。井田栄二保険部長の趣旨説明と挨拶があり、以下の通り保健部員が担当別に講習会を実施しました。

はじめに原 誠保険部担当理事から「マイナアプリ導入から利用まで」のテーマで、アプリのダウンロード法からアプリ操作法や読み取った保険証情報の記載されている内容のことなどの話となりました。次に前原征一保険部担当理事が「委託

会社とは？保険者とは？」のテーマで返戻レセプトの対応法や業務委託会社と保険者（健康保険組合）の違いなど具体例を挙げて説明しました。

最後に井田保険部長から「(1)柔道整復師の施術の療養費の適正化への取組みについて(2)返戻に対しての実例回答集(3)令和6年度料金改定における令和6年10月1日施行に係る留意点について」のテーマで、(1)の適正化への取組みは、過去に発令された厚労省の保険局通知を参考に療養費請求に関する注意点について説明しました。(2)の返戻に対しては、井田部長が実際に提出した返戻例を元に保険者側に伝わりやすい回答の書き方について講習を行いました。(3)の10月改正留意点については、かなり複雑となった漸減措置の具体例を挙げた講習を行いました。仕事に直結する事象の為会員からの質問も活発で盛会のうちに終了しました。

富山地区柔道整復師会マイナ資格確認アプリ設定説明会

日 時：令和6年9月1日(日)
午前9時～
場 所：接骨会館 3階会議室
講 師：(公社)富山県柔道整復師会
保険部長 井田 栄二先生
保険部員 前原 征一先生
原 誠先生
副 会 長 大野 重浩先生
理 事 浜岡 保之先生
理 事 林 禎之先生
理 事 林 政良先生
協同組合 (株) ametrine
指定業者 林 洋仁様 玄澤 映希様
受 講 者：26名
司会進行：中邑 克信先生

富山地区柔道整復師会 田辺 浩嗣

はじめに、富山地区柔道整復師会眞田克樹会長よりご挨拶があり、「12月2日の保険証新規発行終了となる前に、すべての先生方のアプリ運用を開始できるようサポートしていきます」と述べられました。続いて、富山県柔道整復師会木下隆男会長よりご挨拶があり、その後、説明会に入りました。

保険部の原誠先生が、スライドを使って施術所等向け総合ポータルサイトへの新規ユーザー登



録、オンライン資格確認、マイナ資格確認アプリ利用開始申請、マイナ資格確認アプリユーザー設定情報の確認、マイナ資格確認アプリのセットアップ、マイナ資格確認アプリ導入後の流れ、カードリーダー装置、助成金申請等について説明されました。先生方がどこまで進んでいるかを聞いて、進み具合が同じ先生同士グループ分けをし、そこに講師の先生が付き添い、ほとんどの先生がマイナ資格確認アプリの審査まで到達することができました。

ametrineの林様による、カードリーダー装置、アイパッド、アンドロイドタブレットの説明があり、質問も受けておられました。その後、井田栄二保険部長のご挨拶があり、最後に、一ノ瀬充理事より講師の先生方へ謝辞が述べられ閉会になりました。

受講された先生方は、声を揃えて「頭の片隅に引かかっていたものがなくなった」と、ほっと



した表情で帰って行かれました。とても実りある充実した講習会だったと思います。



令和6年度 新川地区保険講習会

日 時：令和6年9月29日(日)
午後4時～
場 所：新川文化ホール

新川ブロック 山田 隆司

9月13日付け『令和6年度料金改定における令和6年10月1日施行に係る留意点について』の通達に対して「わかりにくい」とのお声にお応えする形で、新川地区保険講習会が開催されました。

講師は井田栄二県社団保険部長が担当し、当日は急な開催にもかかわらず新川ブロック会員34名が出席しました。

内容は、

『令和6年度料金改定における令和6年10月1日施行に係る留意点について』

- 1.明細書交付義務化対象の拡大等について
- 2.長期・頻回受領にかかる料金適正化について
- 3.患者ごとに償還払いに変更できる事例の追加

について

の3点で、詳細は先日配布の資料の通りです。

最後に出席者からの質疑に対し井田保険部長が懇切丁寧に応答され、講習会は閉会しました。



役員保険意見交換会報告

日 時：令和6年12月21日(土)
午後3時～
場 所：(公社) 富山県柔道整復師会会館3階会議室

保険部 原 誠

保険に関して、保険部のみならず社団理事全員が会員からの質問に答えられるよう、役員保険意見交換会が毎年開催されています。本年度は上記日程で原が司会を担当し開催されました。井田栄二保険部長の挨拶後、木下隆男社団会長からご挨拶があり、以下の演題にて保険意見交換会が始まりました。

1. 演題:「マイナ保険証の確認について」
講師: 保険部担当理事 原 誠
2. 演題:「施術録記載の留意点」
講師: 保険部担当理事 前原 征一
3. 演題
 1. 「柔整療養費の適正化への取組みについて」
 2. 「返戻に対しての実例回答集」
 3. 「料金改定における10月1日施行に係る留意点について」講師: 保険部長 井田 栄二

保険部がそれぞれに演題についてのPowerPointを作成し、役員間で積極的な意見交換が行われ、最後に森田満社団副会長からの閉会挨拶で終了しました。

Nat`s (新川アスレティックトレーナーズ) 保険講習会報告

日 時：令和6年12月15日(日)
午後3時～
場 所：新川文化ホール

保険部 原 誠

上記日程で、Nat`s保険講習会が開催されました。新川アスレティックトレーナーズは社団新川地区会員の有志で構成されたチームで、トレーナー活動の他、講習会等を開催し自己研鑽を行っています。本年は様々な改正があったことから保険部に講習会依頼があり、開催されました。寺田健一会長の挨拶ののち、講習会が開始されました。井田栄二保険部長の趣旨説明と挨拶があり、以下の通り保険部員が担当別に講習会を実施しました。

はじめに、原 誠保険部担当理事から「マイナアプリ導入から利用まで」のテーマで、既にアプリ導入後であったため、読み取り装置で確認した保険証情報はアプリの設定ボタンからパスコードを再入力することで読み取りの翌月まで再表示で

きることなど、アプリの使い方を中心に話がありました。次に、前原征一保険部担当理事が「委託会社とは？ 保険者とは？」のテーマで、返戻レセプトの対応法や業務委託会社と保険者（健康保険組合）の違いなど具体例を挙げて説明しました。最後に、井田保険部長から「(1)柔道整復師の施術の療養費の適正化への取組みについて(2)返戻に対しての実例回答集(3)令和6年度料金改定における令和6年10月1日施行に係る留意点について」のテーマで、(1)の適正化への取り組みは、過去に発令された厚労省の保険局通知を参考に療養費請求に関する注意点について説明しました。(2)の返戻に対しては、井田部長が実際に提出した返戻例を元に、保険者側に伝わりやすい回答の書き方について講習を行いました。(3)の10月改正留意点については、かなり複雑となった漸減措置の具体例を挙げた講習を行いました。仕事に直結する改正のため、会員からの質問も活発で、今回はマイナアプリ導入義務化直後ということもあり、アプリ使用に関する質問も多く、盛会のうちに終了しました。

文部科学大臣杯争奪 第33回日整全国少年柔道大会 第14回日整全国少年柔道「形」競技会

日 時：令和6年11月17日(日)
午前8時会場 午前9時開会
場 所：講道館大道場(7階)

事業部長 一ノ瀬 充

向寒の候、全国47都道府県より少年少女329名の選手が出場し、講道館で開催されました。選手は日頃積み重ねてきた練習の成果を発揮して熱戦を繰り広げました。

開会式では、長尾淳彦会長より「全国各地より多くの少年少女や柔道整復師の皆様が集い、柔道の聖地である講道館で競技に挑むことができるのは、大変意義深いことです」とご挨拶されました。午前9時より柔道大会が始まり、富山県代表(松井博也監督、大井すず選手、佐野春太郎選手、中村英選手、山田翠選手、鹿野翔暉選手)は、一回戦で大分県代表と対戦しました。全員果敢に攻め、

一生懸命善戦しましたが、0-2で惜敗しました。

午後1時より、「形」競技会が始まり、富山県代表(監督鷹取祐司、取 鷹取芭織選手、受 朝井創介選手)は、予選Bブロック2位通過で決勝進出を果たしました。決勝では4位入賞の榮譽に輝きました。監督・選手は富山県大会後の練習で技に磨きをかけ、技の理合いの原点を正しく理解し体得させることに努力をした結果だと思えます。富山県初の快挙ですし、素晴らしい形でございました。

選手の皆様には、この素晴らしい経験を通じて柔道の奥深さや魅力を実感し、技術の向上だけではなく、互いに尊敬し合うところを育てていただけることを願っております。

この度、木下隆男会長、森田満副会長、北信越ブロック代表審判員澤田勝監事と共に同行させていただき、貴重な経験と勉強させていただいたことに深く感謝いたします。本当にありがとうございました。



第14回日整全国少年柔道「形」競技会 表彰式

日 時：令和6年12月21日(土)

場 所：接骨会館3階会議室

事業部 林 政良

令和6年11月17日(日)、講道館で行われた第14回日整全国少年柔道「形」競技会で、富山県代表が初めての予選を突破し、8チームで行われた決勝戦では見事4位入賞の榮譽に輝きました。その監督と選手への表彰式が当会館で行なわれました。

森田副会長の開会の挨拶で始まり、木下会長から「日整全国少年柔道形競技会4位入賞おめでとうございます。日頃の柔道の練習の後に形の練習をやるのは大変な練習量だったと思います。こういった頑張る姿勢を我々接骨院の先生方も見習って日々精進していきたいと思います」とのお言葉がありました。続いて日整長尾会長からの賞状を代読され監督と選手に手渡されました。また、森田副会長と井田副会長からクリスタル、大野副会長、眞田副会長、島田常務理事よりギフト券が贈呈されました。写真撮影後、監督、選手、父兄の皆様より一言ずつご挨拶がありました。

【監督代理 鷹取慎也コーチ】

本日はこのような席を設けて頂き誠にありがとうございました。選手達の今年の目標が日整全国少年柔道大会で上位入賞でした。毎日遅くまで練

習した成果もあり4位入賞という結果を残すことができ、私達も大きな感動を頂きました。来年も今年以上の成績を残せますよう選手共々精進して参りたいと思います。

【取 鷹取芭織選手】

全国大会上位入賞という目標に向かって一生懸命練習を頑張りました。4位に入る事が出来てとても嬉しいです。今日はありがとうございました。

【受 朝井創介選手】

僕の目標は全国大会でメダルをもらう事でした。その為に沢山練習しました。そして結果4位になってメダルをもらう事が出来ました。とても嬉しかったです。

【父兄代表】

お兄ちゃんも形競技をやっている形競技の大変さや難しさはわかっていたのですが、本人が絶対やりたいといい、ふざけながらも一生懸命練習し風邪も引かず、怪我もせずに頑張り夢の講道館で4位入賞する事ができ、本当に初めて褒めてあげたいと思いました。

最後に、一ノ瀬事業部長より「この大会は選手達の希望と夢と目標の詰まった大切な大会です。その大会での4位入賞を誇りに思います。素晴らしい演武でした。この素晴らしい経験を後世に繋いでいき今後の人生の糧にして頂きたいです」と総評があり、井田副会長の閉会の挨拶で表彰式が終わりました。



スポーツ委員会（救護・トレーナー活動）

富山県中学校柔道選手権大会

日 時：令和6年7月14日(日)
午前9時20分～
場 所：アルビス小杉総合体育センター

今年度から救護係として初めての活動でしたが、開澤先生に助けられ無事終わることができました。

さて、大会に関して、男子団体16チーム、女子8チームの参加で午前中に行われ、午後から個人



スポーツ委員会 林 幸憲

戦が行われました。男子8階級115名、女子8階級62名で、大会も盛り上がり、選手たちの真剣な試合を観戦し、勝って泣く子、負けて泣く子、久々に楽しませてもらいました。

救護活動に関しては、2名の負傷者があり、足趾関節の捻挫1件、練習中の負傷による怪我をテーピング固定するなどの処置を施しました。多数の負傷者もなく大会を終え、安心いたしました。



第44回北信越ブロックスポーツ少年団競技別交流大会 柔道競技

日 時：令和6年9月29日(日)
午前9時
会 場：県営富山武道館
対 象：北信越4県35名

富山県柔道連盟からの救護支援依頼により、スポーツ委員会委員久水嘉智会員、富山ブロック古川信也会員の2名にて救護活動を行いました。県内外からスポーツ少年団所属の男女35名が集まり、柔道を通じ他県との選手の交流を目的とし、熱戦が繰り広げられました。

我々は、約1時間前に会場に集合し、怪我が発生した場合の対応などを打ち合わせ、氷嚢への氷詰めや事前に用具の点検などの準備をして競技開始を待ちました。

今大会では救護活動はありませんでした。県を代表する選手は受け身の習練がなされていることが、けがを未然に防ぐことに繋がったと実感しました。

今大会は選手が自分の試合以外でも試合をしている選手を鼓舞する大きな声援が武道館を包みこむ、熱気溢れる大変盛り上がった大会でした。今

報告者 久水 嘉智
参加者名 久水 嘉智 古川 信也

大会に参加された選手には正しい柔道を身に付け、県内外で活躍されることを願っています。



第27回滑川ほたるいかマラソン

日 時：令和6年10月13日(日)
会 場：滑川総合体育センター
対 象：マラソン大会出場選手

さわやかな秋晴れのなか開催されたこの大会には、2,732名のランナーが参加しました。3週間後に行われる富山マラソンの調整としてハーフマラソンの部に参加するランナーも多く見られました。

午前7時に準備のため会場入りし、7時30分から会場アナウンスと共にトレーナー活動が開始されました。受付2名、選手のケア8名で選手を受け入れましたが、レース直前の来訪により、整列時間に間に合わないため、利用を諦めた人も若干名見受けられました。利用者が時間に余裕を持って来るように、レース前の早めの利用の周知の強化も今後の課題と考えられました。

ほたるいかマラソンは例年、ハーフの1時間後に10kmがスタートするため、ゴールの時間が重なり、ゴール後は行列ができます。それでも、各



報告者 稲垣 一仁

先生方はその状況を見ながら、時間をかけ過ぎずランナーの要望に応え、適切なケアを心がけておられました。

ただ、熱中症を疑う症状の方がおられ、ゴール閉鎖後時間が経っていたため、医師団ブースに連絡が取れず戸惑いました。その後、大会本部の方に対応してもらいましたが、次の大会ではレース終了後の対応について検討が必要かと思います。その他は特に混乱もなく、大変有意義な活動であったと思います。TJATブースの利用者は延べ136名でしたが、県内の多くの大会でトレーナーブースが設置されていることを利用者に認知されているようでした。

今回のブースはベッド8台を入れていましたが、スペースに余裕があり、混雑時の移動や選手へのケアがしやすく、とても良かったと思います。当日責任者の佐々木先生をはじめ、打ち合わせ、準備にご尽力いただきました諸先生方に感謝申し上げます。



富山マラソン2024

日 時：令和6年11月3日(日)
午前8時～午後5時
会 場：富山総合体育館2階
対 象：大会参加ランナー（14,610人）

前日の荒天と打って変わり秋晴れとなった3日、北陸新幹線の開業を記念して平成27年に始まり9回目となった富山マラソンが開催されました。

元日に発生した能登半島地震にて一時期開催が危ぶまれましたが、代替コースを新設し、また復興支援としてチャリティ枠も設けられ、義援金が県内の被災地に贈られる大会となり、3部門に1万4619人が越中一路を駆け抜けました。

（公社）富山県柔道整復師会の木下隆男会長、

報告者 福田 秀継

真田スポーツ委員長を含め会員23名が参加し、ランナーのアフターケアのために総合体育館2階にてトレーナーブースを設置し、ベッド14台でランナーの施術に努めました。当日は20℃と気温も高く、また風が強く吹いていたため、126名の消耗したランナーたちが訪れ、症状に合わせた施術にてランナーの回復を促し、重かった足取りも軽くブースを後にされて行きました。施術後にランナーから「ここまで丁寧にやってもらえるとは思わなかった。」「もっとランナー達に認知されればいいのに。」といった嬉しい声も聞かれました。

今年は走り終えたランナー達の更衣室からトレーナーブースまでの動線の確保に問題があり、

訪れたランナー数も例年より少なく、活動を通じて多くの方に接骨院、柔道整復師を知っていただく良い機会でもありますので、来年への課題となりました。トレーナー活動は他の会員の施術テクニックを見る良い機会でもあり、隙間時間に会員同士の意見交換や指導していただける貴重な機会でもあり、良い場と考えています。

これからも学術や技術の研鑽に励み、地域活動を通じて積極的に参加貢献していきたいと思えます。最後になりましたが、当活動に対しご尽力いただきました諸先生方に感謝申し上げます。



第47回全国高等学校柔道選手権大会富山県大会

日 時：令和6年11月16日(土) 男女個人戦
 令和6年11月17日(日) 男女団体試合
 会 場：県営富山武道館

スポーツ委員 深見 宏太

今大会は来年3月に開催される全国高等学校柔道選手権大会に向けての大事な県予選でした。新人大会ということもあり、3年生が引退してからの全国に繋がる初めての大会ということもあり、選手の熱気が強く伝わってきました。

16日は古川信也先生、17日は岩山悟士先生と救護活動をさせていただきました。二日間通して、大きな外傷もなく無事大会を終えることができました。今後も選手のために柔道整復師会の一員として、この救護活動を通して、1人でも多くの方のお役に立てるよう精進してまいります。



第31回 扇状地マラソン in にゅうぜん トレーナーブース派遣

報告者 竹内 崇裕

日 時：令和6年11月17日(日)

第31回扇状地マラソン in にゅうぜん（ハーフマラソン）にて、トレーナーブースを開設しました。例年、気温が低く雨天になりやすい大会ですが、今年は暖かく天候も大会終盤まで崩れることなく持ちこたえてくれました。会場は入善町総合体育館のメインアリーナ内で、トレーナーは会員6名が参加し、例年よりも多くの利用者に訪れていただくことができ、充実した活動となりました。今回の経験を通じて、多くの学びを得ることができました。今後も努力を重ね、来年はさらに良いサポートを提供できるよう努めてまいります。



令和7年富山県柔道選手権大会・富山県女子柔道選手権大会

日 時：令和7年2月2日(日)

開会式 午前10時

会 場：県営富山武道館

対 象：一般、高校生男女20名

報告者 久水 嘉智
参加者名 久水 嘉智 深美 宏太

富山県柔道連盟からの救護支援依頼により、2月2日にスポーツ委員会より深美宏太委員と久水嘉智委員の2名が、令和7年富山県柔道選手権大会・富山県女子柔道選手権大会の救護活動を行いました。県内から一般および高校生の男女20名が集まり、北信越柔道選手権大会兼北信越女子柔道選手権大会出場を目指して白熱した試合が繰り広げられました。

私たちは約1時間前に会場に集合し、怪我が発生した場合の対応などを打ち合わせ、氷嚢への氷詰めや用具の点検などの準備を行い、競技開始を待ちました。

今大会の救護活動では、指および拇趾の止血、テーピング、試合後のアイシング、大会中の畳に対する消毒の提供等、症状に適した対応を行い、



無事に大会を終えることができました。

攻防がハイレベルな試合が続き、会場からは歓声が絶えず、熱気が広がる大会となりました。

県代表に選ばれた選手たちが北信越柔道選手権大会兼北信越女子柔道選手権大会で活躍し、全日本柔道選手権大会および全日本女子柔道選手権大会に出場できることを願っています。



介護委員会

介護予防高岡グループ

代表 柴田 成人

介護予防に関して、現在「すこやか運動教室」が4教室、「足腰げんき倶楽部」が13教室開催されています。各教室とも利用者さんに安心、安全に気を配りながら行っています。

令和5年からデータを高岡市役所、公益社団法

人富山県柔道整復師会事務局に各教室の集計をまとめて送っています。年間を通して、利用者人数のバラツキはあるものの、それぞれ頑張っておられます。

「すこやか運動教室」「足腰げんき倶楽部」は公益性があり、関わっている指導者の先生があまり増えていません。少しでも多くの先生に関わっていただきたく願っています。



令和6年度 富山県総合防災訓練

高岡ブロック 藤森和則

日 時：令和6年9月29日(日)
8時30分頃～12時
場 所：朝日町立さみさと小学校

魚津断層帯を震源とするマグニチュード7.3の地震が発生し魚津市及び黒部市で震度7、入善町で震度6強、朝日町で震度5強を観測。大津波警報の発表。多数の家屋の倒壊、津波、火災、土砂災害、孤立集落が発生、インフラ等に甚大な被害。県東部の被害に加え、県西部の一部の地域においても、がけ崩れ、家屋倒壊等が発生。この災害で多数の負傷者が発生。道路も寸断されて患者の搬送が困難となり、物資の供給も停止等の想定で、令和6年度富山県総合防災訓練が行われました。メイン会場は黒部市総合公園でしたが、公益社団法人富山県柔道整復師会は朝日町立さみさと小学校で、JMATによる救護所の設置及び医療救護活動訓練(医療等関係機関合同訓練)に参加しました。

会場では、避難所に避難している地域住民の中に傷病者や持病の悪化等で体調不良を起こした方が多数発生等の想定により、JMAT、県薬剤師会、県看護協会と連携し、住民に対する避難所での医



療救護活動を実施しました。医師の診断後に負傷想定者が柔道整復師の待機する場所へ専門職の方に案内され、負傷に応じて手当や固定を施す訓練を行いました。参加住民の年輩の方は「処置のおかげで歩きやすくなった。」とうれしい感想を、子供の参加者は「包帯を巻いてもらいうれしい。」など微笑ましい感想をいただきました。

今年元日に「令和6年能登半島地震」の発生で富山県内も北部、北西部らに家屋の大小損壊、津波警報、液状化現象、地盤沈下、インフラ等の被害を経験しました。訓練が現実に近い形で行われることは、いつ、どこで、どのくらいの規模であるかわからない『万が一』が起こった場合に混乱を最小限に抑える事ができる良い訓練だったと思います。



災害対策委員会体験講習会

災害対策委員 林 政良

日 時：令和7年2月2日(日)
場 所：富山県防災航空センター

最初に消防防災航空隊の隊員から航空隊の活動について説明を受けました。山岳救助や災害時の支援活動など、ヘリコプターが果たす役割の大きさに驚きました。特に、富山県は立山連峰などの山岳地帯が多いため、遭難者の救助が頻繁に行われていることを知り、消防防災航空隊の重要性を改めて感じました。

次に実際にヘリコプター（レオナルド式AW139型）の機体を間近で見学しました。機内の設備やパイロットの操縦席を見せていただき、普段

見ることのできない機材や計器に皆さん興味を持たれたようで、多くの質問が隊員に寄せられました。

今回、特に印象的だったのは、ホイスト（吊り上げ装置）を使った救助訓練です。隊員の方が迅速かつ正確に動き、要救助者役の眞田副会長を軽々と安全に吊り上げていく様子は、まさにプロフェッショナルの仕事だと感じました。このような訓練を日々重ねることで、実際の救助活動で迅速に対応できるのだと理解しました。

最後に木下会長から隊員の皆様へ「素晴らしい訓練の様子を見学させていただき、ありがとうございました。隊員の迅速さ、正確さ、安全性を私たち社団も見習っていききたいと思います。命に直面するお仕事、これからも頑張ってください」とのお言葉をいただき、講習会は終了しました。



各ブロック報告

令和6年度 富山ブロック学術研修会

富山ブロック 久水 嘉智

日 時：令和6年8月18日(日)

午後2時

場 所：富山県教育文化会館

富山ブロック学術研修会は記録的な残暑が続く中、約80名の先生が参加し開催されました。

古川信也理事の司会のもと、眞田克樹富山ブロック長による開催の挨拶に続き、来賓の(公社)木下隆男富山県柔道整復師会会長の挨拶後、学術研修会に先立ち保険部より保険実務講習会が開催されました。

原誠保険部担当理事の司会のもと、井田栄二保険部長の挨拶に続き保険実務研修会に移りました。

・演題：「マイナアプリ導入から利用まで」

講師：原 誠保険部担当理事

・演題：「委託会社とは？ 保険者とは？」

講師：前原 征一保険部担当理事

・演題：「柔整療養費の適正化への

取り組みについて」

「返戻に対しての実例解答集」

「令和6年度料金改定における

留意点について」

講師：井田栄二保険部部長



他ブロックより導入率が低い富山ブロックにおいて、今回の講習会はマイナ資格確認アプリの導入へのハードルが下がる内容で、療養費が右肩下がりな昨今、返戻に対する対処方法を研修することは接骨院運営には必要不可欠で、明日からの施術に直結する研修会でした。

学術研修会は眞田克樹富山ブロック長の挨拶に続き、(公社)富山県柔道整復師会 木下隆男会長の挨拶で始まりまし

特別講演

・演題：「スポーツと体の使い方」

講師：富山県立中央病院 整形外科部長

医学博士 丸箸 兆延先生

今回のご講演では、丸箸先生自身の経験を基に体の使い方を変えれば怪我の予防に繋がるということが語られました。怪我をした選手を治すために医学を志した。今は一人でも怪我をしない体作りを目指して日々診療に取り組んでいるという言葉が印象的でした。

常に新しい技術を習得し現場で活用するという丸箸先生の行動力は、我々柔道整復師も常に学術を磨き修めていく必要性を感じた講演でした。

令和6年度富山ブロック学術研修会は、一ノ瀬充理事が丸箸先生への謝辞をもって終了致しました。



令和6年度 高岡ブロック学術研修会

報告者 藤森 和則

日 時：令和6年9月16日(月・祝)

午後3時～

場 所：伏木コミュニティセンター

講師：公益社団法人 富山県医師会副会長
南里泰弘先生

演題：「柔道整復師が知っておくべき

腰痛・下肢痛と頸部痛・上肢痛」

残暑厳しきおり、高岡ブロック会員111名と他
ブロックから8名の参加のもと、「令和6年度 高岡
ブロック学術研修会」が開催されました。



講師の南里泰弘先生から、腰痛・下肢痛について、原因に始まり、分類、運動などの対策方法等をユーモアを交えて説明されました。腰痛を引き起こさないような姿勢を学ぶこと、運動療法の大切さ、職場において予防対策と職場復帰が重要だとまとめられました。また、慢性疼痛が多方面に及ぼす個人や社会への影響についても説明されました。頸部痛・上肢痛についても同様の説明がありました。

柔道整復師は、日々の施術において「腰痛」と「頸部痛」を訴える患者に接する機会が多くあり、繰り返しの頻度より起こり得る疾患、加齢に伴う変性疾患、3か月以上続く慢性疼痛などに留意しながら、迷ったら整形外科への受診をすすめるなど適切に対応していきたいと思います。

令和6年度 富山県柔道整復師会 新川ブロック学術研修会

報告者 浜岡 保之

日 時：令和6年10月27日(日)

午後3時～

場 所：スカイホテル魚津

10月27日(日) 午後3時より、スカイホテル魚津で、令和6年度富山県柔道整復師会新川ブロック学術研修会が開催されました。講師に富山県リハ



ビリテーション病院・子供支援センター 手外科センター長 医学博士 橋本二美男先生をお迎えして、『最近の整形外科の治療』～手外科領域を中心に～と題して講演していただきました。富山県柔道整復師会木下会長、森田副会長、大野副会長、真田副会長にも来賓として出席いただき、県下の会員51名が参加しました。

橋本先生のご講演は、我々柔道整復師にとって身近な症例に対し、痛みの除去を第一に考え、第二、第三の施術方法を模索していくことの大切さを教えていただきました。講演は、スライドを交えた大変わかりやすい内容でした。



令和6年度 砺波ブロック学術研修会

砺波ブロック 柴田 秀喜

日時：令和6年11月4日(月・振休)
場所：TONAMI翔凜館

講師 厚生連高岡病院 整形外科診療部長
金沢大学医学部臨床教授
医学博士 鳥島 康充先生
演題 脊椎破壊性疾患と仙腸関節性腰痛

この日は11月に入ったのに夏日となる中、砺波ブロック学術研修会が開催されました。

厚生連高岡病院の鳥島康充先生を講師にお迎えし、来賓には木下会長、森田副会長、井田副会長、眞田副会長が来訪され、ブロック会員、他ブロック会員あわせて66名が参加となりました。林禎之副会長の司会で大野重浩ブロック会長、木下隆男県会長の挨拶のあと、鳥島康充先生のプロフィールが紹介され講演が始まりました。

講演内容は以下の通りです。

1. 仙腸関節性腰痛
 1. 発生機序
 2. 診断方法
 3. 理学的治療法
2. 見逃し厳禁の疾患群
 1. 致死的血管性疾患
 2. がんの骨転移
 3. 神経and/or血管損傷を伴う骨折、脱臼
 4. 神経障害を伴う脊椎疾患



仙腸関節性腰痛の理学的治療法では、ベッド上の被検者を使い実技を交えて教えていただきました。また、見逃し厳禁の疾患群では、柔道整復師の日常診療で腰痛などに潜む危険な症状に対する診断のポイントを以下のように解説していただきました。

1. 発症時間を何時何分と指定できる痛み
2. 体動と関連なく前兆の無い激しい腰痛、背部痛
3. 胸痛、腹痛、ショック症状の合併
4. 高血圧の既往
5. 来院時血圧異常（高血圧・低血圧）
6. Marfan症候群を疑わせる骨格異常（正常血圧）
7. 腹部の拍動性腫瘍

また、骨粗しょう症における脆弱性骨折などもビデオを用いてわかりやすく解説していただきました。

講演終了後、大野ブロック会長より謝辞が述べられ、蔵谷昌隆監事の閉会の挨拶で学術研修会は終了しました。このあと懇親会の時間が迫っているため研修会では質疑応答はなかったのですが、懇親会会場では鳥島先生の席の周りを会員が次々訪れ質問をしていました。砺波ブロック会員にとって明日からの診療につながる大変有意義な研修会でした。



富山県柔道整復師協同組合

令和6年度 富山県柔道整復師協同組合 第2回理事会報告

日 時：令和6年11月23日(土)
午後5時05分～午後6時30分
会 場：富山市舟橋北町3-7
接骨会館3階会議室
出席者：理事8名 欠席1名、監事2名

〈理事長挨拶〉

本日参加への謝辞とともに、沢山の意見を出してほしいとの挨拶があった。

〈議 題〉

第1号議案 令和6年度上半期収支報告の件

北川事務局長から資料に沿って次を主旨とする説明がなされた。

上半期においては、能登半島地震にともなう地震見舞金126万円の支出が大きな留意点であるが、これは予算計画に沿った内容であり、今年度全体としてはほぼ予算計画どおり141万円程度の赤字になると見込まれる。

出席した全員異議なく承認

第2号議案 組合脱退者報告の件

魚谷理事長から、今年の4月以降に7名の脱退者があったとの説明がなされた。

なお、複数の理事から、組合員の死去にもかかわらず出資金の払い戻しが完了しないケースについての照会あり。

北川事務局長からは、具体的に必要な資料（戸籍謄本など）を集める総費用が、払い戻し予定の出資金5,000円を上回る場合もあり、必ずしも遺族からの資料の提出が進捗しないもの。



その場合、払い戻し手続きは進捗せず、既存の出資金総額のなかにもそれに該当するものが複数あると推測されるとの説明あり。

出席した全員異議なく了承

第4号議案 組合員新規加入承認の件

魚谷理事長から、今年の4月と7月に1名ずつ加入者があり、令和6年9月30日現在の組合員総数436名との説明がなされた。

出席した全員異議なく承認

〈その他〉

北川事務局長より来年度の予算作成にあたり、当組合としての方針についての意見と確認が参加理事監事にもとめられた。

具体的には

①「日当と交通費」について

公益社団法人富山県柔道整復師会では、令和7年度から「日当（県内であれば3000円）」の廃止を決議済みであり、当組合での対応として規程に沿って「廃止」を確認願いたいとするもの。

これに関して複数の発言があったが、結論として社団に準ずると意見集約がなされた。

②「当組合の20周年記念式典」について

本年の年末まで会場と日程が確定不可にて、決定次第に試案作成し、理事監事にお知らせすることとしたい。

また、予算としては、特別積立金残高、教育情報費用積立金残高約、周年記念事業積立金残高 計270万円の半額130万円程度を上限として記念式典の計画を策定するものとしたとするもの。

これについて、出席理事から「130万円もの予算総額は好ましくない」、「式典を極めて限定的なものにし、いわゆるイベントは見送

りとしても良い」等々の発言あり。
結論として、会場に関する抽選の結果もふま
まえ、後日にあらためて検討するものと意見
集約がなされた。

上記の2項目に加え、魚谷理事長から次の2項目
について発言あり。

協賛業者への対応として、組合員への広告宣伝

資料の送付を、来年度以降、年会費を頂戴した際
に年1回無料（従前まで有料）としたい。

ボウリング大会については、規模、形式等妥当
なものとして今後とも現在の内容にて継続させて
ゆきたい。

この2項目について、出席理事全員にて賛成す
ると意見集約がなされたもの。

以上

令和6年度 第2回（公社）富山県柔道 整復師会・富山県柔道整復師協同組合 親善ボウリング大会に参加して

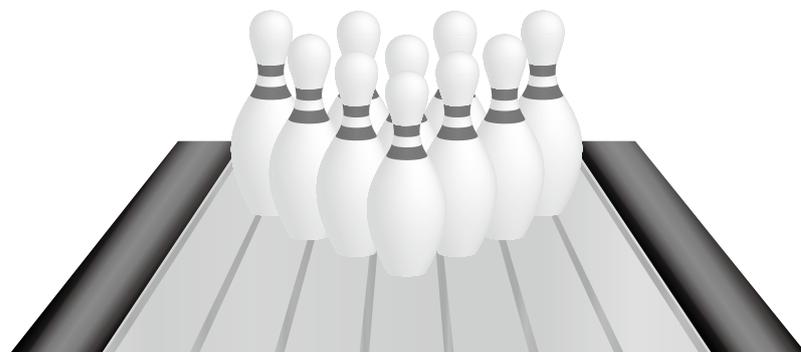
新川ブロック 柚木 栄

日 時：令和6年9月23日（月・祝）
午後3時～
場 所：立山グランドボウル

9月23日、富山県柔道整復師会及び協同組合主
催のボウリング大会が立山グランドボウルにおい
て開催されました。田畑衆議院議員の始球式に始
まり、65名が各レーンに分かれ熱戦を繰り広げま
した。

私、柚木も新川地区の先生方と共に参加させて
いただき、ストライクの際は他地区の先生ともハ
イタッチをして、外すと「おいしい」と声を掛けて
いただき、楽しく2ゲーム参加致しました。

新川地区懇親会に参加するため、閉会式を待た
ずに帰宅し、懇親会場にて井田地区会長から優勝
したと教えていただき、とても驚きました。懇親
会では新川地区の先生方と「今日は楽しかった、
来年もぜひ参加しよう」と大変盛り上がり、私も
楽しいひと時を過ごさせていただきました。



日本柔道整復師会北信越ブロック会

北信越ブロック 親善ゴルフ富山県大会

高岡ブロック 磯辺 遼平

日 時：令和6年8月25日(日)
午前8時28分 北・東コース 同時スタート
場 所：小杉カントリークラブ

曇り空の下、北信越ブロック親善ゴルフ富山県大会が小杉カントリークラブにて38名の参加者により開催されました。日整の長尾会長、長野県の柏木会長、新潟県の金子会長、石川県のニッ谷会長も参加されました。

天候にも恵まれ、日整長尾会長の始球式が行われた後8：28北コース・東コース同時にスタートしました。気温が高く暑かったため水分補給をしっかりと行い、熱中症に気をつけながら先生方と楽しくプレーすることができました。

プレー終了後は森田満大会実行委員長の司会進行のもと、コンパルムを使用し日整竹藤副会長、山崎保健部長、富山県木下会長、古川理事も参加されました。木下会長の挨拶、ニッ谷石川県会長の乾杯後、成績発表並びに表彰式が行われました。ニアピン賞、ドラコン賞その他各特別賞の発表があり、その後個人の成績発表が行われ、多くの景品が贈られ大変盛り上がりました、中でも日整長



尾会長賞においては各組じゃんけんにて1名を選出し、他の組代表者同士でのじゃんけん後、5名による決選じゃんけんにより浅川会員が見事に獲得し、日整長尾会長から会長賞を送られました。浅川会員は満面の笑みでした。

今大会にて生涯ベストスコア北コース41、東コース42、GROSS83、HC15.6 NET67.4にて優勝させていただき感謝しております。同伴者にも恵まれた結果です。

今回の開催にあたり、大会準備等のお世話をしていたいただいた先生方、協賛して頂いた企業各社並びに個人の方々にお礼を申し上げます。

令和7年は新潟県の開催予定ですので、宜しくお願い致します。

上位成績は下記のとおりです。

順位	氏 名	北	東	南	グロス	HDCP	NET
1	磯辺 遼平	41	42		83	15.6	67.4
2	伏喜 裕久	45	49		94	22.8	71.2
3	丸田 克幸	53	47		100	28.8	71.2
4	浅川 透	37	42		79	7.2	71.8
5	山崎 一人		43	40	83	10.8	72.2
ベストグロス		北東79虎谷光茂		東南78古本 忠			



長野県柔道整復師会

創立100周年・社団法人設立 55周年・長野接骨師協同組合 設立30周年記念式典

副会長 大野 重浩

日 時：令和6年10月14日(月・祝)
場 所：ホテルメトロポリタン長野

記念式典には、富山県から会長および副会長が出席し、長野県柔道整復師会の物故会員への黙祷の後、宮下副会長の開会の発声で始まりました。国歌斉唱の後、柏木久明長野県会長の式辞があり、会員減少の中でどのように会を盛り上げていくか、地域との連携をどう進めるかについて述べ



られました。

続いて、長尾日本柔道整復師会会長をはじめ、長野県の阿部知事や国会、県会、市会議員の皆様方の祝辞が述べられ、来賓の皆様が紹介されました。

公益社団法人日本柔道整復師会の表彰では、長野県会員の日整帰一精錬賞および日整会長表彰、日整会長感謝状、日整永年会員表彰が行われました。その後、公益社団法人長野県柔道整復師会より長寿祝い、永年功績50年表彰、20年表彰、北信越学術大会、日本柔道接骨医学会の発表者、生涯学習高単位取得者、ボランティア高単位取得者、体育功績者の方々が表彰されました。

受賞者を代表して、長野県柔道整復師会相談役の中島今朝光様より謝辞が述べられました。最後に、西條賢治副会長の閉会の辞で式典は終了しました。



令和6年度 日本柔道整復師会

北信越ブロック会理事会

副会長 大野 重浩

日 時：令和6年10月19日(土)
午後3時～
場 所：ホテルグランテラス富山

福井、石川、長野、新潟県の各柔道整復師会の北信越ブロック理事がホテルグランテラス富山に集まり、北信越ブロック理事会が開催されました。富山県からは木下会長をはじめ、森田副会長、井

田副会長、眞田副会長、島田常務理事、一ノ瀬常務理事、大野が参加致しました。

理事会は、森田副会長が開会の辞、宮下北信越ブロック会会長の挨拶、木下富山県会長の歓迎の辞で始まりました。

各県から提出された議題には、各県の償還払い注意喚起の通知やオンライン資格確認手続きの進捗状況、柔整療養費面接確認委員会の設置状況、日整危機管理の指針に対する対応、レセプト用紙の改訂に対する対応および協同組合の収入原資等が含まれ、各県がそれぞれ回答し、参加理事により各課題について検討が行われました。全ての議題が話し合われた後、井田富山県副会長の閉会の辞により理事会は終了致しました。

公益社団法人日本柔道整復師会

公益社団法人日本柔道整復師会 第30回日整学術・生涯学習講習会

日 時：令和6年11月16日(土)
午後1時～
主 催：公益社団法人日本柔道整復師会
後 援：産経新聞社
場 所：日本柔整会館2階大会議室

11月だというのにまだ暖かい日が続く中、日本柔整会館2階大会議場において富山県からは木下富山県柔道整復師会会長及び、日整学術教育部の森田部長が参加され第30回日整学術・生涯学習講習会が、金子益美学術教育部理事の司会のもと開催されました。

開会の辞を森川伸治副会長が述べられ、続いて長尾会長が挨拶をされました。



講演及び報告内容は以下の通りです。

【特別講演公開講座】

保険者から見た柔整問題の過去と将来
～保険者との協調した将来像～

一般社団法人保険者機能を推進する会
リーダー 原 直人 講師

(トピー健康保険組合常務理事)

【学術・生涯学習】

令和5年度生涯学習・ボランティア活動単位報告
など

公益社団法人日本柔道整復師会

徳山 健司 学術教育部長

【学術教育部からのお知らせ】

公益社団法人日本柔道整復師会

徳山 健司 学術教育部長

終わりに金子益美学術教育部理事が閉会の辞を述べられ盛会の内に終了しました。



公益社団法人日本柔道整復師会 日整社団設立70周年記念式典

森田 満

日 時：令和6年12月15日(日)
午後2時
会 場：明治記念館「蓮菜」

晴天の下、全国から表彰会員及び招待者、総勢320名余が明治記念会館に集まりました。公益社団法人富山県柔道整復師会からは河合優相談役、木下隆男会長が表彰者として参加し、盛大に式典と祝賀会が行われました。

午後1時より公益社団法人日本医師会副会長の釜蒔敏氏による特別講演が行われ、午後2時より70周年記念式典が開催されました。午後4時からは、2階「富士」にて日本柔道整復師会社団法人設立70周年記念祝賀会が行われ、長尾会長の挨拶の後、石破総理のビデオメッセージが上映されました。来賓の伊吹文明氏、武見敬三氏、自由民主



党総務会長の鈴木俊一氏、財務大臣の加藤勝信氏、厚生労働大臣の福岡資麿氏、衛藤晟一氏、田畑裕明氏、片山さつき氏、斎藤健氏、有村治子氏、後藤茂之氏、古川俊治氏から祝辞が述べられました。

午後4時40分からは、世界柔道形選手権大会4連覇を達成した石田桃子氏と石田真理子氏による「柔の形」の形演武が披露されました。

長尾会長の挨拶では、1月1日の震災による復旧復興が進んでいないことに心を痛めておられ、少しでもお役に立ちたいとの思いから、今回の記念品として輪島塗の夫婦箸が選ばれました。石破総理のビデオメッセージでは、若いころ地元で同級生もいて接骨院にはお世話になったことが話されました。その後、来賓の祝辞が述べられた後、石田桃子氏と石田真理子氏による形の演武「柔の形」が披露されました。乾杯後、歓談の中、懐かしい先生方との会話や写真撮影が行われ、閉会の辞にて散会致しました。

この度、表彰された会員の先生方、おめでとうございます。今後のさらなるご活躍をお祈り申し上げます。



各地区富山県柔道整復師会

令和6年度 砺波地区柔道整復師会 臨時總會懇親会

日 時：令和6年11月4日(月・振休)
午後5時～
場 所：TONAMI翔凜館3階鳳凰

令和6年度砺波地区臨時總會懇親会が開催されました。来賓に(公社)富山県柔道整復師会顧問の議員様方、学術研修会で講演いただいた鳥畠先生、各市の顧問市議の先生方、(公社)富山県柔道整復師会 木下隆男会長、高岡地区 森田満会長、新川地区 井田栄二会長、富山地区 眞田克樹会長にもご臨席賜り、60名での懇親の場となりました。

大変な盛り上がりとなり、懇親会は終了しました。



令和7年度 高岡地区柔道整復師会 新年会

高岡地区 明神 隆

日 時：令和7年1月12日(日)
場 所：ホテルニューオータニ高岡

令和7年の高岡地区柔道整復師会の新年会がホテルニューオータニ高岡で開催されました。時節柄、発熱で急遽欠席となる方もおられましたが、ご来賓21名、会員91名、計112名の元気な顔を見ることができ、和やかな雰囲気で開催されました。

橘慶一郎衆議院議員を皮切りに、9名方々より新年の挨拶をいただき、高岡・氷見・射水市長の方々からも祝辞をいただきました。富山県医師会副会長の南里康弘先生からは、柔道整復師の現状を踏まえた心温まるお言葉をいただきました。最後に、木下隆男富山県柔道整復師会会長より当会

の将来について重要なお話を述べられ、永森直人県会議員乾杯のあと、宴が始まり来賓、会員一同楽しいひと時を過ごしました。

2025年はマイナンバーカードが保険証や運転免許証として利用できる社会のデジタル化が始まります。地域に根ざした柔道整復師として、しっかりと対応しながら、今年も頑張っていきたいと思えます。



令和7年度 新川地区柔道整復師会 新年会

新川支部 稲垣 一仁

日 時：令和7年1月19日(日)
午後4時～

場 所：ホテルグランミラージュ

令和7年度新川地区柔道整復師会の新年会が盛大に開催されました。一年で最も寒い時期を迎えましたが、当日は天候に恵まれ1月にしては珍しく暖かな日となりました。

新年会には、来賓9名と会員59名が参加し、賑やかで心温まる会となりました。来賓としてご出席いただきました上田英俊衆議院議員、野上浩太郎参議院議員、堂故茂参議院議員、鹿熊正一富山

県議会議員、厚生連滑川病院南里泰弘先生、富山県柔道整復師会木下隆男会長より熱のこもったご挨拶をいただきました。そして当会の稲場司先生による乾杯のご発声で開宴となりました。

来賓の諸先生方や会員同士、日頃の業務に関する話題などが活発に交わされました。楽しい時間が続き、新年会の後半には恒例のビンゴ大会が行われ、大いに盛り上がりました。参加者はそれぞれが熱心にカードを見つめ、番号が呼ばれるたびに歓声が上がりました。最後には参加者全員に賞品が渡りました。

最後に魚谷明弘先生より、ご出席いただきました来賓の諸先生方への感謝の言葉が述べられ、万歳三唱が行われました。続いて南里先生が登壇され、ユーモアを交えたご挨拶で会場が笑いにも包まれる中、当会会員に向けての万歳三唱で、盛会のうちに幕を閉じました。



令和7年度 富山地区柔道整復師会 新春懇親会

富山地区 田辺 浩嗣

日 時：令和7年1月26日(日)
午後5時

会 場：富山電気ビル5階大ホール

富山県富山地区柔道整復師会新春懇親会が、久水嘉智理事の司会で開催されました。眞田克樹会長より『昨年1月1日の能登半島地震により、新春懇親会を開催出来ず、2年ぶりに開催する新春懇親会への参加の御礼、ご来賓へのご臨席の御礼、そして今日は皆さんと膝をまじえて懇親の場を楽しめれば良いと思います』と述べました。

富山地区柔道整復師会 新春懇親会



ご来賓として、藤井裕久富山市長、田畑裕明衆議院議員、上田英俊衆議院議員、野上浩太郎参議院議員、堂故茂参議院議員、宮本光明富山県議会議員、南里泰弘富山県医師会副会長・国民健康保険審査会会長、木下隆男（公社）富山県柔道整復師会会長、田邊祐三富山市議会議員より祝辞をいただき、また、森田満（公社）富山県柔道整復師会副会長、大野重浩（公社）富山県柔道整復師会副会長にも御臨席いただきました。

続いて新田八朗富山県知事からの祝電が披露され、村野博幸参与の乾杯の発声で懇親会が始まりました。中締めでは上條邦彦会員により万歳三唱が行われ、返礼の万歳を井田栄二（公社）富山県柔道整復師会副会長より頂戴し盛会裡に終了致しました。



各市柔道整復師会・接骨師会

令和6年度 砺波市接骨師会

定時総会

砺波市接骨師会会長 山下 雅司

日 時：令和6年9月15日(日)

午後5時15分～

場 所：和風会館ふかまつ

あいにくの天候の中、砺波市接骨師会定時総会が島田博副会長の司会進行のもと、会員多数の参加にて開催されました。

開会に先立ち、2025年夏に予定されている参議院全国比例区からの出馬を目指す宮窪大作氏より熱い思いをお聞きしました。私の挨拶の後、富山県柔道整復師会大野重浩砺波地区会長より、富山県柔道整復師会の近況について報告していただきました。



続いて議事に移り、幡谷孝久先生より令和5年度の事業報告並びに収支決算報告があり、八田純監事より監査報告され、承認されました。

役員改選では、会長に島田博先生、副会長に林実先生、会計に田守剛先生を満場一致で承認されました。新役員の先生方は会の運営に一層のご尽力をいただきたいと思います。最後に、砺波市総合防災訓練協力のお願いがあり、総会は終了しました。

総会終了後は懇親会が行われ、来賓の富山県議会議員米原蕃様、砺波市長代理、砺波市福祉市民部地域包括支援センター利波順子様、砺波市議会議員林教子様のご挨拶を賜り、時間がたつのを忘れ、有意義な時間となり、河合優相談役の万歳で盛会のうちに閉会となりました。



令和6年度 射水市柔道整復師会 射水市総合防災訓練

射水市柔道整復師会 高坂 峰雄

日 時：令和6年9月29日(日)
午前8時30分～11時40分
場 所：南太閤山地区 小杉南中学校

令和6年9月29日(日) 午前8時30分頃、呉羽山断層帯を震源とするマグニチュード7.4地震が発生し射水市で震度7を観測。このため建物倒壊と火災が発生し、多数の市民が負傷したほか、液状化による道路やライフラインが寸断する被害を想定した、射水市総合防災訓練が行われました。

射水市柔道整復師会からは、嶋 光一、松長功二、林 幸憲、細川圭三、高坂峰雄の5名の会員が参加しました。

射水市柔道整復師会は、緊急時に家庭や身の回りにある簡単な材料での、応急固定方法をさせていただきました。初めに参加住民の方々には、前腕部の負傷を想定して、私達が日頃の施術で行っている包帯副子固定を観ていただきました。次に参加者に2～3人一組になってもらい、飲料紙パック・タオル・ビニール紐・ビニールテープ・新聞紙・雑誌・空き箱等での副子固定と、ポリ袋や長袖シャツを使って提肘するまでを体験していた



いただきました。参加者の中には、家庭の中にある何気ない物も、こういった場面で使用できる事を再認識しておられました。

今回、訓練も終盤にさしかかったところに、会場内で突然に参加住民の方から「すみませんが段差を踏み外し負傷した方がいますのでお願いできますか」と声をかけられて、参加会員5名で連携し駆け付けまして、周りには沢山の方々が見守っている中で、私達にできる応急処置（足関節包帯固定）を施すことになり、思わぬ救護実践の場面となりました。

今後も防災訓練参加により、共通した認識と災害時に統一した対応ができるよう心がけておきたいと思っております。



令和6年度

砺波市総合防災訓練

砺波市 中川 雅晴

日 時：令和6年9月29日(日)

午前9時～

場 所：砺波市梅檀野体育館

砺波市総合防災訓練が砺波市梅檀野体育館で開催されました。

砺波平野断層帯東部を震源とする震度6強の地震が発生した想定で行われ、砺波市接骨師会から7名の会員が参加しました。傷病者に対して身近な物を用いて応急処置を行うため、傘、ガムテープ、雑誌、新聞紙、ラップ、ビニール袋、風呂敷などを使い上肢、下肢の固定を行いました。普段使い慣れている包帯、テープ、副子などの固定具と違って固定の難しさを感じました。

災害はいつ起こるかわからないので、日常から防災意識を持って、災害時には今回の防災訓練の経験を活かして活動したいと思います。



令和6年度 射水市柔道整復師会 射水市柔道整復師会保険実務講習会

射水市柔道整復師会 磯谷 充律

日 時：令和6年10月6日(日)
場 所：救急薬品市民交流プラザ

射水市柔道整復師会による保険実務講習会が、救急薬品市民交流プラザで開催されました。講習会では以下の内容が中心に取り上げられました。

1 講義内容

- ・射水市役所の保険年金課の方を招き、後期高齢者医療制度の仕組みについて詳しく説明が行われました。
- ・マイナンバーカードの保険証利用についての説明もありました。



2 実務指導

- ・後半では、今後の長期や頻回の理由の書き方についてパソコンを使用して説明が行われました。

3 質疑応答

- ・最後の1時間は森田満地区会長が登壇し、保険に関する疑問に対する質疑応答の時間が設けられ、参加者から多くの質問が寄せられました。

今回の講習会は、内容が非常に充実しており保険制度や保険請求に対して勉強できる、参加者にとって有意義な学びの場となりました。



投 稿

富山臨床接骨学研究会 活動報告

実行委員長 柴田 康由

日 時：令和6年10月27日(日)
場 所：和歌山県HOTEL SEAMORE

和歌山県HOTEL SEAMOREで開催された(公社)日本柔道整復師会・第47回近畿学会和歌山大会において、高崎浩当研究会会長が特別講演を行いました。講演タイトルは「私が行っている骨折脱臼に対する柔整的対応」で、主管県となった(公社)和歌山県柔道整復師会によると、事前申し込みだけで会場参加者196名、WEB参加者488名の計684名とのことでありました。和歌山県側が実施したアンケートでは、回答者268名の内、①「良かった」が241名、②「どちらとも言えない」が27名 ③「悪かった」が0名であり、感想としては「多数の臨床例に裏付けされた安定感ある講演、

学生への質問指名など配慮を感じた」「動画もふんだんに取り入れられて、教科書的な内容だけでなく自院での傾向や経験則をお話いただき、大変興味深い内容でした」「圧倒的な経験値を持ってのお話を聞けたのは柔整師や学生の参加者にとって必ず役に立つと思います」「柔道整復師の在り方について深く考え、柔道整復師の発展のために良い効果を与える講演であったと思います」「高崎先生の日常の整骨院の様子を学べて、とても参考になりました。このような機会を与えて頂き、高崎先生、並びに学会関係者の皆様に感謝いたします」「近年の学術大会を振り返りますと、特別講演といえば、医科の先生による医科からの目線での講演が多かったように思いますが、今回のように柔道整復師の特別講演も、柔道整復術を見直す良い機会になりました」等の意見がありました。また令和7年3月9日(日)には第33回福岡県接骨医学会でも電気ビルみらいホールにて講演をされます。福岡県柔道整復師会ユーチューブチャンネルでも配信予定となっております。



KINKI ACADEMIC CONFERENCE 日本柔道整復師会
第47回近畿学術大会 和歌山大会
《柔道整復・接骨医学》
公益社団法人
主管：和歌山県柔道整復師会
実行委員長 岸田 昌章
学術委員長 梅田 貴吉

開催日時 **10月27日(日)** 受付：9:00～ 開会：9:30～
会場 **HOTEL SEAMORE** WEB 同時開催
SHIRAHAMA KEY TERRACE
和歌山県高市郡日守町1821 TEL. 0739-43-1000

第47回 近畿学術大会 和歌山大会 事前登録はこちら
第47回 近畿学術大会 和歌山大会 論文集 電子ブック閲覧はこちら

▼特別講演▼
私が行っている骨折・脱臼への柔整的対応
富山県接骨院 院長 富山臨床接骨学研究会 会長 **高崎 浩先生**

▼日登学術教育部より▼
匠の技伝承プロジェクトの意義等について
公益社 日本柔道整復師会学術教育部 部長 徳山 健司
エコーを柔整師の手に
公益社 日本柔道整復師会学術教育部 部長 小野 博道

第47回近畿学会・和歌山大会 2024. 10. 27

私が行っている
骨折・脱臼への柔整的対応



富山県・高崎接骨院
富山臨床接骨学研究会会長
高崎 浩

第13回浩柔・響柔グリーン会 ゴルフコンペ

日 時：令和6年11月3日(日・祝)
会 場：小杉カントリークラブ

秋晴れの下、浩柔・響柔グリーン会が16名参加のもと開催されました。

この大会が今年最後のラウンドという先生方も多くおられ、和やかな雰囲気の下、大会は終了しました。

大会結果上位は下記の通り

- ・ 1位 大野 英樹
- ・ 2位 竹林 浩平
- ・ 3位 山崎 一人
- ・ ベスグロ 浅川 透 86



新川ブロック 新田博康会員

一人居のひとりまごころ 春炬燵
 一東の手先染めいて 露をむく
 山あいにしみる 哀調風の盆
 枯梗や 屈みて 老女水を遣る
 絶を解し舟の 花

博康

会 員 異 動

区 分	施術所	所在地	氏 名	実施年月日
施術所廃止	新庄佐藤接骨院	富山市向新庄6丁目8-55	佐藤 秀幸	R6.8.31
	神田接骨院	南砺市福光1152-1	神田 謙治	R6.9.30
	高真接骨院	高岡市木町5-15	長田 隆範	R6.12.31
	須藤接骨院	富山市向新庄1-13-10	須藤 秀男	R6.12.31
	林接骨院	富山市太郎丸西町1-9-9	林 正治	R6.12.31
	中江接骨院	射水市本町2丁目1-18	中江 勝志	R6.12.31
	浅生山接骨院	富山市窪新町11-2	浅生山 実	R6.12.31
(退会)	新庄佐藤接骨院	富山市向新庄6丁目8-55	佐藤 秀幸	R6.8.31
	神田接骨院	南砺市福光1152-1	神田 謙治	R6.9.30
	高真接骨院	高岡市木町5-15	長田 隆範	R6.12.31
	須藤接骨院	富山市向新庄1-13-10	須藤 秀男	R6.12.31
	林接骨院	富山市太郎丸西町1-9-9	林 正治	R6.12.31
	中江接骨院	射水市本町2丁目1-18	中江 勝志	R6.12.31
	浅生山接骨院	富山市窪新町11-2	浅生山 実	R6.12.31

訃 報

《謹んでご冥福をお祈り申し上げます》

(令和6年8月から令和7年1月)

ブロック名	ご逝去日	会員氏名	続柄
新 川	令和6年 9月 1日	上野今日子・歩	母
砺 波	令和6年 9月18日	片岡由紀夫	母
高 岡	令和6年 9月23日	池田修一郎	母
新 川	令和6年 9月29日	清水伸一郎・純郎	妻・母
新 川	令和6年10月 6日	小柳 龍	父
高 岡	令和6年10月23日	中島 勤	母
富 山	令和6年10月27日	佐藤 中	父
高 岡	令和6年11月 4日	苅部 望	母
高 岡	令和6年11月21日	杉谷 義之	母
富 山	令和6年12月22日	山元 明男	母
高 岡	令和7年 1月 1日	谷川 広光	母
高 岡	令和7年 1月11日	倉田 太	父

明治安田

[5年ごと配当付組立総合保障保険]

ベスト+スタイル

健康キャッシュバック + 発見・予防

「ベストスタイル 健康キャッシュバック 発見と予防のWサポート」は、「ベストスタイル」に「健康サポート・キャッシュバック特約（2024）」「早期発見・治療支援特約」「重症化予防支援特約」を付加した場合の販売名称です。

富山支社 〒930-0007 富山県富山市宝町1-3-10 明治安田生命富山ビル11F TEL 076-432-2471

LOVE
TOYAMA
ラブドットトヤマ



小さな「点」から大きな「愛」を。

とうざわ印刷工芸株式会社 富山市婦中町広田5210 TEL.076-466-2711

接骨院・整骨院のレセコンなら

柔道整復師向 事務管理システム

三四郎くんVer.H エイチ

使い勝手の良い操作性はもちろん療養費改正等の保険改正にすばやく対応。迅速サポートでご好評を頂いている「三四郎くん」は常に進化を続ける信頼と実績の事務管理ソフトです。

オプションでさらに便利!!



サーマルプリンタ

QRコードシステム



他社からのデータ移動もお任せ下さい!

※一部ご希望に添えない場合があります。

大切な超音波画像をUSBメモリで簡単取り込み・保存!

超音波画像ファイリングシステム

ウルトラ三四郎 Next



超音波観察装置

柔道整復師向け

詳しくは弊社にお問合せ下さい。



HS-2200

医療機器認証番号:
225AHBZX00034
製造販売元: 本多電子株式会社



SONIMAGE MX1

医療機器認証番号:
230ABZX00010000
製造販売元: コニカミノルタ株式会社



Viamo sv7

医療機器認証番号:
229ACBZX00025000
製造販売元:
キヤノンメディカルシステムズ株式会社

SSB 株式会社 エス・エス・ビー

【北陸営業所】

〒921-8064 石川県金沢市八日市5丁目439

TEL 076-269-2002 / FAX 076-269-2208

ホームページはこちら▶

<https://www.sanshiro-net.co.jp/>



最新柔整情報が読める!! 柔整ホットニュース

<https://www.jusei-news.com>

ミツウロコでんきのご提案

全国の柔道整復師協同組合様で

切替を頂いております。

診療所だけじゃなく
ご自宅もOK

電気代が高いと感じてる方は
まずはお電話を!!

切替えることによって
停電が増えたりはしません!
品質も変わりません!



- ・違約金、解約金なし!
- ・契約期間の縛りなし!
- ・事務手数料なし!

切替手続きは簡単!
電力会社への連絡も不要!

まずは、どれくらい安くなるかシュミレーションさせて下さい!!

ミツウロコグループ 株式会社米沢産業

●住所: 石川県白山市横江町488

●電話: 柔道整復師協同組合専用ダイヤル 0120-504-579

●FAX: 076-274-4772

三井住友海上は、持続可能な社会の実現に取り組みます

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsで 人と自然を守る

気候変動の緩和と適応に貢献

脱炭素社会の
実現を支援

再エネ支援サービスや
再エネ等事業者のリスクを
総合的に補償

緩和

脱炭素のための
取り組み

自然資本を活用した
CO₂吸収取り組み

インドネシア熱帯林再生
プロジェクトやアジアでの
マングローブ植林の実施

気候変動への取り組み

自然災害の激甚化・頻発化への備えを支援し、
ネットゼロに向け、ステークホルダーとともに
脱炭素社会の実現に貢献していきます。

防災・減災に向けた
BCP対策支援

台風・豪雨による被害予測、
リアルタイムなリスク可視化や、
避難支援アプリの提供

適応

防災・減災のための
取り組み

気候変動リスクの
コンサルテーション

気候変動による洪水頻度変化
予測マップ、TCFD向け自然災害
影響定量評価サービスの提供

《お問い合わせ先》

三井住友海上火災保険代理店 **株式会社TRIO**
富山県柔道整復師会担当

〒930-2225 富山市寺島569-2 TEL: 076-435-5568 FAX: 076-435-5548

トロフィー・優勝カップ・楯・バッチ・旗・製作販売

富山県柔道整復師協同組合指定店
富山県庁職員生活協同組合指定店

総合ギフト用品・贈答品



(有) ナカダ工芸

〒939-8201 富山市花園町1-7-7

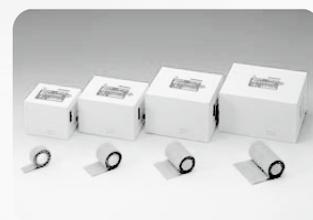
電話 (076) **493-3211**

FAX (076) 493-8384

E-mail info@nakadakougei.com

U R L <https://www.nakadakougei.com>

やさしい目で健康を見つめる
健康への思いをカタチに



株式会社 坂田亀楽堂

本社：〒920-3122 石川県金沢市福久町へ24番地1

TEL：076-257-2050（代表）

FAX：076-257-6313

日本柔道整復師 協同組合員 のみなさまへ

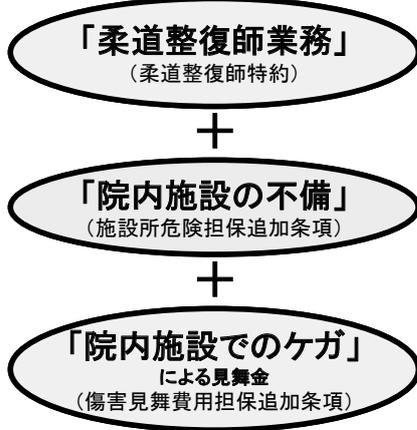
11月1日
保険始期

柔道整復師賠償責任保険

「新・柔道整復師賠償責任保険」では、「柔道整復師業務」の賠償事故だけでなく、任意オプションで「鍼灸師などの業務」「日常生活」「サイバー事故/個人情報漏えい」の賠償事故も補償できます！！

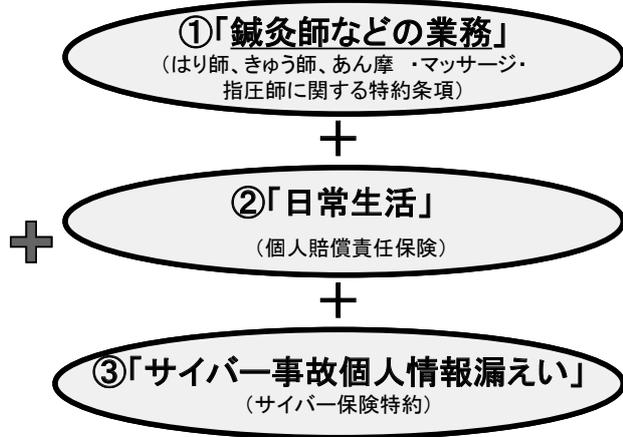
基本プラン

「基本プラン」は以下による賠償事故を補償します！



任意オプションプラン (任意に1つからでも選択できます。)

「任意オプションプラン」は以下による賠償事故を補償します！



*「任意オプションプラン」だけのご加入はできません。必ず「基本プラン」とのセットでのご加入となります。

総合補償制度 (団体所得補償保険、団体長期障害所得補償保険 [GLTD] 新・団体医療保険、傷害総合保険、ゴルファー保険)

病気・ケガ・交通事故による所得減・医療費をトータルで補償します！！

(団体所得補償保険、新・団体医療保険、
団体長期障害所得補償保険、傷害総合保険)

20%割引!

(団体割引20%)

日整協同組合
ならではの
割引です!

ゴルファー保険

25%割引!

(団体割引25%)

この内容は概要を説明したものです。詳しい内容については、取扱代理店または損保ジャパン営業店にお問い合わせください。

<引受保険会社>

損害保険ジャパン株式会社

〒930-0029 富山県富山市本町3-21

富山支店 法人支社

(TEL)050-3788-5329 (FAX)076-444-5010

<受付時間>

平日:午前9時から午後5時まで

(土・日・祝日・年末年始は、お休みとさせていただきます。)

<取扱代理店>

株式会社RMS保険センター

富山市二口町4-2-1 (TEL)076-421-3200

株式会社フェイス・シマダ

高岡市問屋町65高岡エクル内

(TEL)0766-22-0783

(SJ24-14871 2025/2/4)

フコク生命は現在の医療保障の“幅”を見直し、
ずっと、どんなときも対応できる

商品を開発しました。

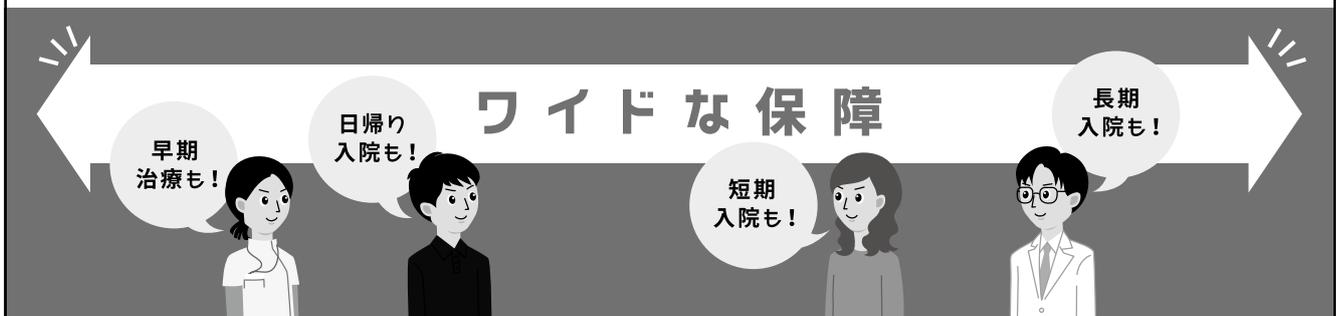
ずっと・どんなときも。ワイドな安心をお届けします

幅広保障の医療保険

ワイド・プロテクト

医療保険（有配当 / 2022）

- ◎ 短期入院から長期入院までハイブリッド保障でずっと安心
- ◎ 投薬から入院、重大疾病の療養までどんなときも安心



- ご検討にあたっては、「保険設計書（契約概要）」「特に重要な事項のお知らせ（注意喚起情報）」
「ご契約のしおり— 一定款・約款」を必ずご確認ください。

富国生命保険相互会社 富山支社

〒930-0004 富山市桜橋通り 6-13 ☎ 076-432-2750

人と人の間に

フコク生命

THE MUTUAL

登広 - 業務 - 0046 (2023.8.1)

世界と ずっと。 メットライフ。



MetLife
メットライフ生命

メットライフは世界有数の生命保険グループ会社として、子会社および関連会社を通じて生命保険や年金、従業員福利厚生、資産運用サービスを提供し、個人・法人のお客さまとよりたしかな未来への礎を築いています。

詳細はこちらから



メットライフ生命保険株式会社 〒102-8525 東京都千代田区紀尾井町1-3 <https://www.metlife.co.jp>
富山エイジェンシーオフィス 〒930-0008 富山市神通本町1-1-19 いちご富山駅西ビル3F TEL:076-442-2633

富山県柔道整復師協同組合員様は工事費を含むお見積りからさらに**5%割引!!**

住まいの困ったを解決!オリバーは地域密着のリフォーム・増改築専門店です。他社さんとの相見積りも大歓迎!!

リフォーム®増改築専門店

Google クチコミで **No.1** 圧倒的な評判! クチコミはこちら ▶

リフォームデザインコンテスト **11** 年連続受賞

累計リフォーム施工実績 **55,000** 件超

ご相談・お見積り無料!! ☎ **0120-47-1152**

お電話の際は「柔道整復師会の組合員です」とお伝えください!

システムバス

こんなご要望にお応えいたします。 **工期 5日**

- 掃除しやすいお風呂にしたい
- 滑りにくいお風呂にしたい
- 冷めにくいお風呂にしたい
- 広く感じのお風呂にしたい

<p>SEKISUI</p> <p>バスサルーン ルーミー</p> <p>フリースタイル 1坪タイプ</p> <p>※スリム排水口 ※eシャワー</p> <p>材 785,400円</p> <p>69% OFF</p> <p>24.0 万円 (税込)</p>	<p>LIXIL</p> <p>リデア Cプラン</p> <p>1坪タイプ</p> <p>※くろんぽい排水口 ※エコフルシャワー ※クラシック水栓 ※キレイド折戸</p> <p>材 1,012,000円</p> <p>65% OFF</p> <p>35.9 万円 (税込)</p>
<p>TOTO</p> <p>サザナ Nタイプ</p> <p>1坪タイプ 基本プラン</p> <p>※カラリ床・ゆるり浴槽 ※コンフォートウォッシュシャワー ※お掃除ラクラクカウンター ※スキリア折戸</p> <p>材 970,200円</p> <p>56% OFF</p> <p>42.8 万円 (税込)</p>	<p>TOCLAS</p> <p>エブリイ カウンタータイプ</p> <p>1坪タイプ</p> <p>※ラックフロアW ※フックアップ水栓 ※断熱合わせフタ ※浄水シャワー</p> <p>材 1,240,800円</p> <p>54% OFF</p> <p>57.3 万円 (税込)</p>

+ 基本工事費 275,000円~ (税込)

※材料費含む。 ※保証・アフター付。 ※システムバスからシステムバスへの変更は別途となります。 ※メーカー施工費は別途となります。

(廃材処分費、ガス工事、諸経費は別途計上いたします。) ※在来浴室→システムバスの場合、基本工事費から別途追加料金が発生します。

システムキッチン

こんなご要望にお応えいたします。 **工期 4日**

- 収納がもっとほしい
- 明るいキッチンにしたい
- お手入れラクラクにしたい
- 使い勝手のいいキッチン

<p>TOTO</p> <p>ミツテ I型255cm 基本プラン</p> <p>※ステンレスカウンター ※フロベラファン ※ガスコンロ ※2段引き出し収納</p> <p>材 855,140円</p> <p>60% OFF</p> <p>34.2 万円 (税込)</p>	<p>TOCLAS</p> <p>Bb I型255cm 大引き出しプラン</p> <p>※人造大理石カウンター ※シロッコファン ※ガスコンロ ※開き扉</p> <p>材 988,240円</p> <p>54% OFF</p> <p>45.6 万円 (税込)</p>
<p>HouseTec</p> <p>マルーレ I型255cm スライドタイプB</p> <p>※除菌手開くゴミカゴ ※オーケックアップ人工大理石 ※2段引き出し収納 ※ガスコンロ ※シロッコファン</p> <p>材 1,165,120円</p> <p>61% OFF</p> <p>45.9 万円 (税込)</p>	<p>LIXIL</p> <p>ノクト I型255cm シンプルプラン</p> <p>※ステンレス排水口 ※シロッコファン ※ガスコンロ ※3段引き出し収納</p> <p>材 944,350円</p> <p>47% OFF</p> <p>50.4 万円 (税込)</p>

+ 基本工事費 253,000円~ (税込)

※材料費含む。 ※保証・アフター付。 ※メーカー施工費は別途となります。 ※処分費は変動がございます。 ※処分費は変動がございます。

(廃材処分費、ガス工事、諸経費は別途計上いたします。) ※キッチンパネル工事は基本工事費に含まれております。

トイレ

こんなご要望にお応えいたします。 **工期 1日**

- 節水型のトイレにしたい
- お手入れラクラクなトイレにしたい
- コンパクトなトイレにしたい
- バリアフリーにしたい

<p>TOTO</p> <p>ZJ1シリーズ</p> <p>手洗いなし ウォシュレット 一体型</p> <p>材 257,180円</p> <p>55% OFF</p> <p>11.5 万円 (税込)</p>	<p>LIXIL</p> <p>アメージュ</p> <p>リトイレ 手洗いなし シャワートイレ 一体型</p> <p>材 274,230円</p> <p>53% OFF</p> <p>12.9 万円 (税込)</p>	<p>Panasonic</p> <p>アラウーノ/S160</p> <p>タイプ2 手洗いなし 全自動お掃除機能</p> <p>材 284,900円</p> <p>39% OFF</p> <p>17.5 万円 (税込)</p>
<p>TOTO</p> <p>GG1</p> <p>手洗いなし ウォシュレット 一体型</p> <p>材 302,390円</p> <p>38% OFF</p> <p>18.7 万円 (税込)</p>	<p>TOTO</p> <p>GG1-800</p> <p>手洗いあり ウォシュレット 一体型 自動洗浄付</p> <p>材 308,990円</p> <p>39% OFF</p> <p>19.0 万円 (税込)</p>	<p>LIXIL</p> <p>サティス</p> <p>手洗いなし シャワートイレ アクアセラミック バドストリーム洗浄 ECO5</p> <p>材 358,600円</p> <p>23% OFF</p> <p>27.5 万円 (税込)</p>

+ 基本工事費 38,500円~ (税込)

※交換工事・撤去処分費用含む。 ※諸経費は別途計上いたします。 ※給排水の位置によって追加工事が発生する場合があります。 ※処分費は変動がございます。

洗面化粧台

こんなご要望にお応えいたします。 **工期 1日**

- 収納が多い洗面台にしたい
- お掃除しやすい洗面台にしたい
- 広く使える洗面台にしたい
- もっと明るくしたい

<p>LIXIL</p> <p>オフト</p> <p>幅50cm ゴム栓 立水栓</p> <p>材 102,500円</p> <p>52% OFF</p> <p>4.9 万円 (税込)</p>	<p>LIXIL</p> <p>オフト</p> <p>幅75cm 一面鏡 開き扉</p> <p>材 138,050円</p> <p>50% OFF</p> <p>6.9 万円 (税込)</p>	<p>TOTO</p> <p>Vシリーズ</p> <p>幅75cm 一面鏡 (LEDランプ) 開き扉</p> <p>材 189,640円</p> <p>56% OFF</p> <p>8.3 万円 (税込)</p>
<p>TOCLAS</p> <p>EJ</p> <p>幅75cm 三面鏡 開き扉 乾く棚搭載</p> <p>材 246,400円</p> <p>54% OFF</p> <p>11.4 万円 (税込)</p>	<p>LIXIL</p> <p>ピアラ</p> <p>幅75cm 三面鏡 開き扉</p> <p>材 232,100円</p> <p>48% OFF</p> <p>12.0 万円 (税込)</p>	<p>TOTO</p> <p>サクア</p> <p>幅75cm 一面鏡 (エコミラー付) 開き扉</p> <p>材 239,250円</p> <p>40% OFF</p> <p>14.4 万円 (税込)</p>

+ 基本工事費 38,500円~ (税込)

※交換工事・撤去処分費用含む。 ※諸経費は別途計上いたします。 ※給排水の位置によって追加工事が発生する場合があります。 ※処分費は変動がございます。

掲載商品以外にもレンジフードやガスコンロ、給湯器、内装工事、外壁工事、屋根工事、外構工事などお家のことなら何でもご相談ください!

価格表示について ① 材料費のみの価格です。表示価格はすべて税込です。 ② 表示価格には諸経費は含まれておりません。 ③ 原料費・運送費の値上がり等により、予告無しに値上げする可能性があります。 ④ 処分費は変動がございます。 ⑤ 写真はすべてイメージです。

OLVER リフォーム

株式会社オリバー リフォーム事業部

お電話の際は、「柔道整復師協会の組合員です」とお伝えください。

ご相談・お見積り無料!! お気軽にお電話ください!

☎ 0120-47-1152

各種パーティ、ご宴会の
レセプションは当社にご用命ください



北陸アシスタント レディス

〒930-0033 富山市元町2丁目5-30
タウンビュー元町201 TEL(076)442-5860

富山県柔道整復師協同組合

協同組合指定業者

(五十音順)

(株)アクア富山	塩谷商事(株)	パーティーサポート遊花
アートライフ(株)	(株)瀬戸	(株)ファロス
(株)ametrine	ダイヤ工業(株)	(有)フジタ
(有)インクリース	(株)竹勘	(株)HELIO JAPAN
(株)WES(ウエス)	立山科学(株)ボウル部	(有)北信精器
(株)エス・エス・ビー	中部通商(株)	北陸アシスタントレディス
(株)オリバー	テイコクファルマケア(株)	(株)ホテルニューオータニ高岡
川瀬CJ(株)	とうざわ印刷工芸(株)	丸大食品(株)
(株)グラフ	東洋レヂン(株)	(株)丸八
(株)クリーンサポート	(株)TOSCOM	ヤマグチメディカル
くろべの太陽(株)	富山県総合警備保障(株)	(株)ヤワラ
近藤医療器	富山産業(株)	遊雅緒
(株)坂田亀巢堂	富山新聞販売(株)	(株)吉田養眞堂
(株)サンケイワーク	(有)ナカダ工芸	(株)米沢産業

組合員様のご利用をお待ちいたしております。

富山市舟橋北町3-7 TEL(076)433-8621

富山県柔道整復師協同組合

理事長 魚谷 明弘

副理事長 大野 重浩・小柳 龍

投稿依頼

次号の原稿締め切りは7月末です。

身の回りで起きる色々な情報をご提供ください。投稿をお待ちしております。

◎地区だより……市町村、地区情報 ワードデータもしくは
原稿400字1～2枚

◎会員ひろば……投稿コーナー 原稿1～2枚以内

○自由題材……趣味・旅行記・その他

○柔整専門・ボランティア活動・私の体験など

○スポーツ・文芸・写真

(俳句…5句以内・短歌…5首以内・詩1編以内)

◎相談・質問コーナー……学術・業務等

文字は楷書で、読み易く書いて下さい。

(メール (info@jusei-toyama.or.jp) での入稿も可)

◎柔整とやまに関するご意見、原稿応募は広報部員までご連絡ください。

広報部 (大野重浩・柴田成人・浜岡保之)

編集後記

去年は、能登半島地震に始まりマイナンバーカード制度の対応など、会員の皆様におかれましては大変な年であったと思います。

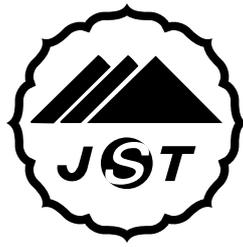
さて、柔整とやま77号が発刊されました。公益社団法人富山県柔道整復師会の報告としては、今年度の活動や重要な事項また、富山県学術研修会、柔整保険実務講習会、スポーツ委員会、介護委員会、災害対策委員会、匠の技伝承プロジェクト、各市の取り組みなど詳細に記載いたしました。



富山県柔道整復師会ホームページの方でも閲覧することができますので、こちらをご参照いただきますようお願い申し上げます。

会員の皆様にとってより良い環境や情報提供ができるよう、引き続き努力してまいります。

広報部 浜岡 保之



令和7年2月28日 発行

公益社団法人 富山県柔道整復師会

設立 大正11年4月1日 社団法人許可 昭和35年12月15日

〒930-0096 富山県富山市舟橋北町3-7
電話 076-433-8621(代) FAX 076-433-8642
e-mail info@jusei-toyama.or.jp

<https://www.jusei-toyama.org>

